

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第8集

埼玉県ふじみ野市

市内遺跡群 7

TAKI SITE
滝 遺跡 第 15 地点

NAGAMIYA SITE
長宮遺跡第30・32地点

MATSUYAMA SITE
松山遺跡第49地点

EGAWAMINAMI SITE
江川南遺跡第24地点

KOMABAYASHI SITE
駒林遺跡第9地点

SHINMEIUSHIRO SITE
神明後遺跡第39地点

2012年3月

ふじみ野市教育委員会

はじめに

ふじみ野市は平成17年10月の合併により新たな歴史を歩みはじめました。市内には、権現山古墳群や福岡河岸記念館、復元大井戸跡や旧大井村役場庁舎など、多くの文化財が存在し、2万数千年前の旧石器時代から現代までの永い歴史をみることができます。それぞれに特色のある地域の歴史も、一つの大きな流れとして捉えると、改めてこの地域の繋がりと関係の深さを感じます。そして、現在のふじみ野市も歴史的に大きな画期にあるといえます。

ふじみ野市は、都心から30km圏内という立地条件にあるため、昭和30年代ごろから急激な開発の波が押し寄せ、企業の工場や研究所の進出、住宅の建設ラッシュ、大規模都市基盤整備事業が計画・実施されました。人口の増加も伴って周辺の自然・社会の環境は大きな変化をしてきました。そして今、合併により更なる変貌を遂げようとしています。

今回、市内で発掘調査された成果を一冊の冊子にまとめることが出来ました。発掘調査の成果は、近年の開発ラッシュに伴う店舗や住宅建設によるものが主体です。永い歴史の中で繰り返し住まいの地として利用されるということは、いつの時代でも、ふじみ野の地が住み良い土地であることの証明ともいえます。

本報告書は、国・県からの補助金と民間開発に伴い各事業者の皆様からの費用負担を受けて実施した、「市内遺跡発掘調査」の結果得られた成果の記録書です。将来にわたってこれらの資料を、地域の文化・歴史を学ぶ糧として広く皆様方に活用していただければ幸いです。

おわりに、土地所有者、開発関係者の皆様には多大なご負担と、ご協力を賜りました。地域の文化財保護・保存についてのご理解をいただいたことに対し深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

また、調査から本書刊行に至るまで、文化庁・埼玉県教育委員会生涯学習文化財保護課・市関係各課・調査関係者、各事業者の多くの皆様から、ご指導やご協力をいただきました。誌上をもって厚くお礼と感謝を申し上げます。

ふじみ野市教育委員会
教育長 矢島 秀一

例 言

1. 本書は、埼玉県ふじみ野市内に所在する遺跡群の2009(平成21)年度の試掘調査と発掘調査7件の報告書である。
2. 2009年度に行なった試掘調査、個人住宅の本調査及び整理作業は、総経費12,004,544円に対し、国庫(6,000,000円)、県費(3,000,000円)の補助金の交付を受け、2009年4月1日から2010年3月31日まで実施したものである。
3. 民間開発を原因とした7件の本調査は原因者からの委託を受け、ふじみ野市教育委員会が行なった。各発掘調査及び整理作業、報告書刊行に伴う費用は各原因者・委託者が負担した。

遺跡名・地点名	原因者(委託者)	協定期間
滝遺跡第15地点	近藤不動産株式会社	2009年10月20日～2012年3月31日
長宮遺跡第30地点	近藤三千子	2009年11月16日～2012年3月31日
長宮遺跡第32地点	谷田勉	2010年2月8日～2012年3月31日
松山遺跡第49地点	内田喜代治	2009年10月26日～2012年3月31日
江川南遺跡第24地点	鈴木文雄	2009年12月10日～2012年3月31日
胸林遺跡第9地点	箕輪永世	2009年7月30日～2012年3月31日
神明後遺跡第39地点	鈴木京子	2009年8月24日～2012年3月31日

4. 調査組織

調査主体者	ふじみ野市教育委員会	文化財保護係長	坪田幹男(～2011.3.31)
担当課	生涯学習課文化財保護係		橋本鶴人(2011.4.1～)
教育長	松下勇司(2008.4.1～2009.11.30)	文化財保護調査担当者	高崎直成、鍋島直久
	矢島秀一(2010.3.19～)	庶務担当	橋本鶴人、国分英良、柳澤健司
生涯学習部部長	田中節子(2009.4.1～2010.3.31)	発掘調査員補	越村 篤
	高梨眞太郎(2010.3.1～)	嘱託員	藤牧守絵
生涯学習課長兼参事	綾部 誠	臨時的任用職員	高橋京子

5. 本書作成の作業分担は執筆を鍋島、近世遺物の観察表作成は越村、第5章の鉄製品関連遺物の執筆と集計・観察表作成は高崎が行なった。また図版作成の一部を中野技術塾、栃東京航業研究所、土器実測の一部を栃文化財COMに委託した。
6. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。(敬称略)
 会田明、阿部常樹、天ヶ嶋岳、荒井幹夫、上田寛、越前谷理、大久保淳、大柴英雄、岡田賢治、加藤秀之、梶原勝、梶原喜世子、神木繁嘉、國見徹、隈本健介、小出輝雄、胸井謙、酒井智晴、佐藤啓子、佐藤良博、塩野賀一、鈴木清、田中信、丹治剛、角田史雄、中村愛、原口雅樹、早坂廣人、比嘉洋子、一本絵理、平野寛之、藤波啓啓、堀善之、松本富雄、柳井章宏、和田晋治、埼玉県教育庁生涯学習文化財課、上福岡歴史民俗資料館、大井郷土資料館
7. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。

(発掘調査参加者)(敬称略) 明石千とせ、新井和枝、飯塚泰子、壹岐久子、井上晴江、井上麻美子、岩城英子、白井孝、大野英理子、長田弘毅、金子君子、川中ひろみ、菊川繁子、小林こずい、西城満期子、坂本民子、佐久間ひろ子、佐竹里佳、篠崎忠三、清水公子、杉本佳久、鈴木勝弘、関田成美、高貝しづ子、高橋智也、滝沢久嘉、寺井美和子、沼澤若男、篠岡由紀子、比嘉洋子、福田美枝子、増沢勝実、宮崎達夫、山内康代、米田昇三、若林紀美代(整理作業参加者)(敬称略) 青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、鈴木千恵子、須藤さち子、高橋けい子、高橋智也、丹治つや子、寺井美和子、中田藤子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿入の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として

遺構配置図 1:300 遺構平面図・遺物出土状況図 1:60、1:30 炉などの詳細図 1:30
 土器実測図 1:4 土器拓影図 1:4 石器実測図 1:4、2:3 銭 1:1

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していない場合は同図版中の前図の海拔高に同じである。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示は以下のとおりである。

攪乱 、地山(ローム) 、焼土 、土器 ●、石器 ▲、黒曜石・チャート ▲、礫 ○

(4) 土器断面図は、■が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表す。

(5) 土器・陶磁器実測図の中心線が破線の場合は、180度回転させて復元実測したことを示す。

2. 住居跡名(番号)は、遺跡内の通し番号である。

3. 本報告にかかると出土品及び記録図面・写真等は一括してふじみ野市教育委員会生涯学習課に保管してある。

市内遺跡群 7 目次

はじめに	i		
例言・凡例	ii		
目次	iii		
挿図目次	iv		
表目次	iv		
写真図版目次	iv		
第 1 章 ふじみ野市の遺跡	1 頁	② 井戸	30 頁
I ふじみ野市の立地と環境	1 頁	③ 溝・出土遺物	30 頁
II 市内の遺跡	2 頁	④ 鍛冶関連遺物の調査と分類	31 頁
第 2 章 滝遺跡第15地点の調査	5 頁	第 6 章 江川南遺跡第24地点の調査	38 頁
I 遺跡の立地と環境	5 頁	I 遺跡の立地と環境	38 頁
II 本調査に至る経過と調査の概要	5 頁	II 本調査に至る経過と調査の概要	38 頁
III 遺構と遺物	6 頁	III 遺構と遺物	39 頁
① H20号住居跡	6 頁	① 集石土坑	39 頁
② 井戸	6 頁	② 堀跡	39 頁
③ 土坑・ピット	6 頁	③ 旧石器時代の遺構と遺物	39 頁
		④ その他(遺構外出土)の遺物	39 頁
第 3 章 長宮遺跡第30地点の調査	12 頁	第 7 章 駒林遺跡第9地点の調査	43 頁
I 遺跡の立地と環境	12 頁	I 遺跡の立地と環境	43 頁
II 本調査に至る経過と調査の概要	12 頁	II 本調査に至る経過と調査の概要	44 頁
III 遺構と遺物	13 頁	III 遺構と遺物	45 頁
① 井戸	13 頁	① 集石土坑	45 頁
② 土坑・ピット・溝・出土遺物	13 頁	② 土坑・ピット	45 頁
第 4 章 長宮遺跡第32地点の調査	21 頁	第 8 章 神明後遺跡第39地点の調査	47 頁
I 本調査に至る経過と調査の概要	21 頁	I 遺跡の立地と環境	47 頁
II 遺構と遺物	21 頁	II 本調査に至る経過と調査の概要	47 頁
① 土坑・ピット	21 頁	III 遺構と遺物	48 頁
② 溝	21 頁	① 落とし穴	48 頁
③ 出土遺物	21 頁	② ピット	48 頁
		③ 溝	48 頁
第 5 章 松山遺跡第49地点の調査	29 頁	写真図版	51 頁
I 遺跡の立地と環境	29 頁	抄録	64 頁
II 本調査に至る経過と調査の概要	30 頁		
III 遺構と遺物	30 頁		
① H36号住居跡	30 頁		

挿 図 目 次

第1図	ふじみ野市の位置と周辺の地形	1頁	第22図	長宮遺跡第32地点土坑④・ピット④・溝④	26頁
第2図	ふじみ野市遺跡分布図(1/30,000)	4頁	第23図	長宮遺跡第32地点出土遺物(1/4)	28頁
第3図	滝道跡の地形と調査区(1/4,000)	5頁	第24図	松山遺跡の地形と調査区(1/4,000)	29頁
第4図	滝道跡第15地点遺構配置図(1/300)	6頁	第25図	松山遺跡第49地点遺跡配置図(1/300)	30頁
第5図	滝道跡第15地点H20号住居跡・遺物出土状況(1/60)・貯蔵穴(1/30)・土坑①・ピット①(1/60)	8頁	第26図	松山遺跡第49地点H36号住居跡・遺物出土状況図・小グリッド設定図(1/60)	33頁
第6図	滝道跡第15地点H20号住居跡竈(1/30)・井戸・土坑②・ピット②(1/60)	9頁	第27図	松山遺跡第49地点H36号住居跡竈・鍛冶炉(1/30)	34頁
第7図	滝道跡第15地点H20号住居跡出土遺物(1/4)・土層説明	10頁	第28図	松山遺跡第49地点H36号住居跡出土遺物①(1/4)	35頁
第8図	滝道跡第15地点出土遺物(1/4)	11頁	第29図	松山遺跡第49地点H36号住居跡出土遺物②(1/4)	36頁
第9図	長宮遺跡の地形と調査区(1/4,000)	12頁	第30図	松山遺跡第49地点井戸・溝・ピット(1/60)・井戸・遺構外出土遺物(1/4)	37頁
第10図	長宮遺跡第30地点遺構配置図(1/300)	13頁	第31図	江川南遺跡の地形と調査区(1/4,000)	38頁
第11図	長宮遺跡第30地点井戸・土坑5(1/60)	14頁	第32図	江川南遺跡第24地点遺構配置図(1/300)・集石土坑(1/30)・堀跡(1/60)	40頁
第12図	長宮遺跡第30地点土坑1~4・6・7(1/60)	15頁	第33図	江川南遺跡第24地点旧石器出土状況図(1/60)	41頁
第13図	長宮遺跡第30地点ピット①(1/60)	16頁	第34図	江川南遺跡第24地点出土石器・縄文土器・石器(1/4・2/3)	42頁
第14図	長宮遺跡第30地点溝①(1/120)	17頁	第35図	胸林遺跡の地形と調査区(1/5,000)	43頁
第15図	長宮遺跡第30地点溝②・ピット②(1/120)	18頁	第36図	胸林遺跡第9地点遺構配置図(1/300)・集石土坑(1/30)	44頁
第16図	長宮遺跡第30地点出土遺物①(1/4・1/6)	19頁	第37図	胸林遺跡第9地点土坑・ピット・溝(1/60)	46頁
第17図	長宮遺跡第30地点出土遺物②(1/4・1/6・1/1)	20頁	第38図	神明後遺跡の地形と調査区(1/4,000)	47頁
第18図	長宮遺跡第32地点遺構配置図(1/200)	21頁	第39図	神明後遺跡第39地点遺構配置図(1/300)・溝1・2(1/60)	49頁
第19図	長宮遺跡第32地点土坑①・ピット①・溝①(1/60)	23頁	第40図	神明後遺跡第39地点ピット(1/60)	50頁
第20図	長宮遺跡第32地点土坑②・ピット②・溝②(1/60)	24頁			
第21図	長宮遺跡第32地点土坑③・ピット③・溝③(1/60)	25頁			

表 目 次

第1表	ふじみ野市遺跡一覧表	3頁	第11表	松山遺跡第49地点H36号住居跡出土遺物観察表	31頁
第2表	滝道跡第15地点土坑・ピット一覧表	6頁	第12表	松山遺跡第49地点鍛冶炉分類重量集計表	32頁
第3表	滝道跡第15地点出土遺物観察表	7頁	第13表	江川南遺跡第24地点集石土坑・雑群・石器集中出土観察表	39頁
第4表	長宮遺跡第30地点井戸・土坑一覧表	13頁	第14表	江川南遺跡第24地点出土石器計測表	39頁
第5表	長宮遺跡第30地点溝一覧表	15頁	第15表	胸林遺跡第9地点集石土坑出土観察表	45頁
第6表	長宮遺跡第30地点ピット一覧表	16頁	第16表	胸林遺跡第9地点土坑・ピット一覧表	45頁
第7表	長宮遺跡第30地点出土遺物観察表	20頁	第17表	神明後遺跡第39地点落とし穴・ピット一覧表	48頁
第8表	長宮遺跡第32地点土坑一覧表	21頁			
第9表	長宮遺跡第32地点ピット一覧表	22頁			
第10表	長宮遺跡第32地点出土遺物観察表	28頁			

写真図版目次

写真図版1	滝道跡第15地点(1)	51頁	写真図版8	松山遺跡第49地点(2)	58頁
写真図版2	滝道跡第15地点(2)	52頁	写真図版9	松山遺跡第49地点(3)	59頁
写真図版3	長宮遺跡第30地点(1)	53頁	写真図版10	江川南遺跡第24地点(1)	60頁
写真図版4	長宮遺跡第30地点(2)	54頁	写真図版11	江川南遺跡第24地点(2)	61頁
写真図版5	長宮遺跡第32地点(1)	55頁	写真図版12	胸林遺跡第9地点	62頁
写真図版6	長宮遺跡第32地点(2)	56頁	写真図版13	神明後遺跡第39地点	63頁
写真図版7	松山遺跡第49地点(1)	57頁			

第1章 ふじみ野市の遺跡

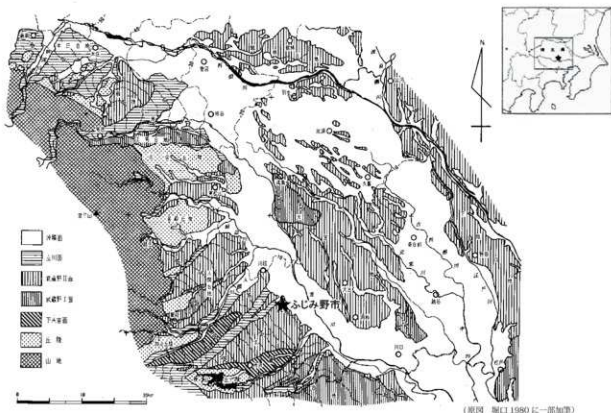
I ふじみ野市の立地と環境

ふじみ野市は埼玉県の南西部に位置し、市内には国道254号バイパス、東武東上線、川越街道（国道254号線）、関越自動車道といった、交通の幹線が北西から南東方向に平行して存在する。市内の開発はこうした幹線沿いや、東武東上線上福岡駅周辺、ふじみ野駅周辺を中心に進んでいるが、郊外には畑地や田園風景も多くみられる。

ふじみ野市を地形的にみると、武蔵野台地と荒川低地に大きく分かれる。旧大井町域は武蔵野台地縁辺部に位置し、旧上福岡市域は台地縁辺部から荒川低地の沖積地に広がる。武蔵野台地は古多摩川が形成した扇状地で、扇頂部で標高180m、扇端部は標高15~20mで比高差10m前後の急斜面となって荒川低地と接している。台地には柳瀬川、黒目川、石神井川等の中河川が荒川低地へ向かって流れ、深い谷と沖積地を形成し、河川に沿って多くの遺跡が分布している。他にも多数の小河川が流れ、台地縁辺を鋸歯状に開析することが多いが、中には急崖もなく、緩斜面のまま低地に接していくことがある。この緩斜面はもともと低位の段丘面で、低位台地と呼ばれる。旧大井町域を南北方向

の断面図で見ると、北と南に高台が続き、その中間に低位台地(大井台)がある。この大井台の中を3本の河川が東流し、河川の流域に遺跡が集中している。中でも砂川堀は狭山丘陵に流れを発する中河川で、本来大井台はこの砂川の段丘面と捉えることができる。また、福岡江川や富士見市との境を流れるさかい川、浄禪寺川などの小河川は市内に湧き水源をもつ。湧き水源は浅い窪地から発しており、こうした窪地の形成は従来から伏流水が再湧出したことによるものと、雨水からの流出によるものとの二通りが考えられている。

荒川低地は、荒川により形成された沖積地で、ふじみ野市の北東部から東部にかけて広がる。荒川の支流であった新河岸川は川越市周辺に水源を発しその流れはふじみ野市、富士見市、志木市、朝霞市を経て東京都にまたがる。武蔵野台地縁辺部を縫うように流れ、不老川、九十川、福岡江川、砂川堀、柳瀬川、黒目川、越戸川、白子川などの支川と合流し、現在は東京都北区で隅田川に合流する。低地部は平坦にみえるが、荒川や新河岸川の河川改修等で取り残された沼や、氾濫でできた旧河道(埋没河川)、自然堤防、後背湿地等の地形が存在する。



(原図 縮小1980に一部加筆)

第1図 ふじみ野市の位置と周辺の地形

II 市内の遺跡

ふじみ野市の遺跡分布をみると、台地上の中小河川沿いと荒川低地部を望む縁辺部、低地部分に分かれる。市内の主な遺跡を時代順に河川ごとに概観する。

【旧石器時代・縄文時代】市の北側を流れる川越江川では、右岸高台に鶴ヶ岡外遺跡、鶴ヶ岡遺跡、八幡神社遺跡（川越市）が位置し、縄文時代中期の集落である西遺跡へ続く。鶴ヶ岡外遺跡では旧石器時代の石器群と礫群が出土し、八幡神社遺跡では縄文時代中期の住居跡などが検出されている。

藤岡江川・川越江川が新河岸川に合流する部分、荒川低地に張り出した舌状台地上に、川崎貝塚として著名な川崎遺跡が立地する。本遺跡ではローム層中からではないが旧石器時代の石器が出土し、縄文時代早期から後期の住居跡などを検出する。新河岸川は川崎遺跡を回り込み、低地部で台地東縁を沿うように流れる。台地東端は急峻を成し、崖線には縄文時代中期のハケ遺跡、学史上著名な前期集落の上福岡貝塚が形成され権現山遺跡へと続く。台地の南端、市立福岡中学校周辺はかつて「熊野山」と呼ばれ、湧出した水が丘上から流れ落ち滝となっていたため「滝地区」の名称が付いたとされる。清水は長宮氷川神社の裏手（北側）を北に流れていたが現在は道路となっており、新河岸川との合流部でその面影を残すのみである。滝遺跡、長宮遺跡はこの小河川に対峙して立地し、滝遺跡では前期の遺構と遺物を、長宮遺跡では前期関山期の集落跡が確認されている。

川越江川の1km南には福岡江川が流れ、新河岸川へ注ぐ。福岡江川の湧水地周辺域に縄文時代中期前半の集落である亀居遺跡が存在し、対岸にも中期前半の江川南遺跡がある。この2遺跡と鶴ヶ岡遺跡では、旧石器時代の立川ローム第IV層の礫群と石器群を検出している。さらに市立亀久保小学校周辺では福岡江川に注ぐ埋没谷がみられ、東久保遺跡、亀久保堀跡遺跡、東久保西遺跡、東中学校西遺跡で旧石器時代から縄文時代中期の遺構と遺物が確認されている。川越江川最下流の新河岸川との合流部域には、前期集落の鷺森遺跡が存在する。

福岡江川の900m南には、富士見市との境にさかい川が流れ、3km下流で砂川堀と合流する。流域には縄文時代中期の拠点集落である西ノ原遺跡の他、10遺跡が存在する。旧石器時代の遺跡は西ノ原遺跡、中沢前遺跡、中沢遺跡・外記塚遺跡（富士見市）で立川ローム

第Ⅲ層～Ⅹ層の遺物が確認されている。縄文時代中期～後期の集落は時代を迫るごとに、上流から下流域へ集落の拠点を移していく傾向がみられる。

さかい川の800m南に、都市下水道と化した砂川堀が流れる。砂川流域は大きく3ヶ所の地域で遺跡分布がみられる。砂川最上流域の狭山丘陵裾部、伏流水となりはじめる中流域、一旦地中に姿を消したあと再び湧水してくる下流域である。下流域のふじみ野市地域では、砂川右岸が段丘となり5～6mの急崖を形成する。この高台には縄文時代中期の拠点集落である東台遺跡があり、旧石器時代の遺跡も西台遺跡から東台遺跡まで連続と続く。一方砂川左岸の低位台地では、市内で最古の時期であるA T 降灰前（立川ローム第Ⅶ層）の石器を本村遺跡の微高地上から検出する。縄文時代中期には上流の小田久保遺跡で小規模な集落がみられ本村遺跡では炉穴、落とし穴が散在するのみである。

【弥生・古墳時代】荒川低地を流れる新河岸川の自然堤防上に、弥生時代後期の環濠集落である伊佐鳥遺跡が立地する。新河岸川右岸、舌状台地崖線の東端に立地する権現山遺跡は、縄文時代から中世までの複合遺跡で、縄文時代の住居跡も存在するが、主体は遺跡北東部と北西端に築造された古墳群と、古墳時代前期から奈良・平安時代にかけての集落跡である。北東部に築造された古墳時代前期の古墳群（埼玉県指定史跡権現山古墳群）は、方墳11基の他に古墳時代初期の前方後方墳（2号墳）1基である。また権現山古墳群北西端の台地縁辺部には、古墳時代中期の古墳群（通称権現山北古墳群）3基がある。他に古墳時代の集落は川崎遺跡と上福岡貝塚、滝遺跡で確認されている。

【飛鳥・奈良・平安時代】7世紀には、前述の舌状台地の西側、川崎遺跡の南西隣に川崎横穴墓群、さらに南約1.5kmの台地南側の崖線に、富士見台横穴墓群が存在する。集落は川崎遺跡、滝遺跡、松山遺跡、長宮遺跡など一段低い段丘面に展開し、川崎遺跡は10世紀前半まで、滝遺跡、松山遺跡は9世紀後半ごろまで続く。

8世紀代には前述の他、ハケ遺跡、上福岡貝塚、権現山遺跡、神明後遺跡、東久保南遺跡などで住居跡を検出する。8世紀中葉から9世紀前半まで、砂川堀右岸の台地縁辺部に東台遺跡の大規模な製鉄遺跡が現われ、周辺の遺跡でも木炭窯などが確認されている。さらに9世紀以降10世紀までは伊佐鳥遺跡、東台遺跡、西ノ原遺跡などで住居跡を検出している。

またハケ遺跡からは鈎帯金具が、川崎遺跡からは瓦

塔片と布目瓦などが出土しており注目される。

【中世】駒林遺跡では14世紀代に遺立された板碑の下に、蔵骨器が埋納された葺石墳墓を検出した。また本遺跡を囲む堀跡状の溝覆土層中から、茶忌跡などが確認されている。長宮遺跡、松山遺跡、木村遺跡などでは13～16世紀代の遺物を伴う遺構を検出する。特に木村遺跡では遺構を多数検出し、15世紀以降中世集落が発展したと思われる。

16世紀後半から17世紀前半では川崎遺跡、長宮遺跡、松山遺跡、神明後遺跡、浄禪寺跡遺跡などで屋敷地とみられる遺構を検出し、「新田」といった地名と共に開発の歴史を偲ばせる。特に城山遺跡は荒川低地の自然堤防上に立地し、周囲を方形に堀跡で囲む中世から近世の居館跡と思われる。

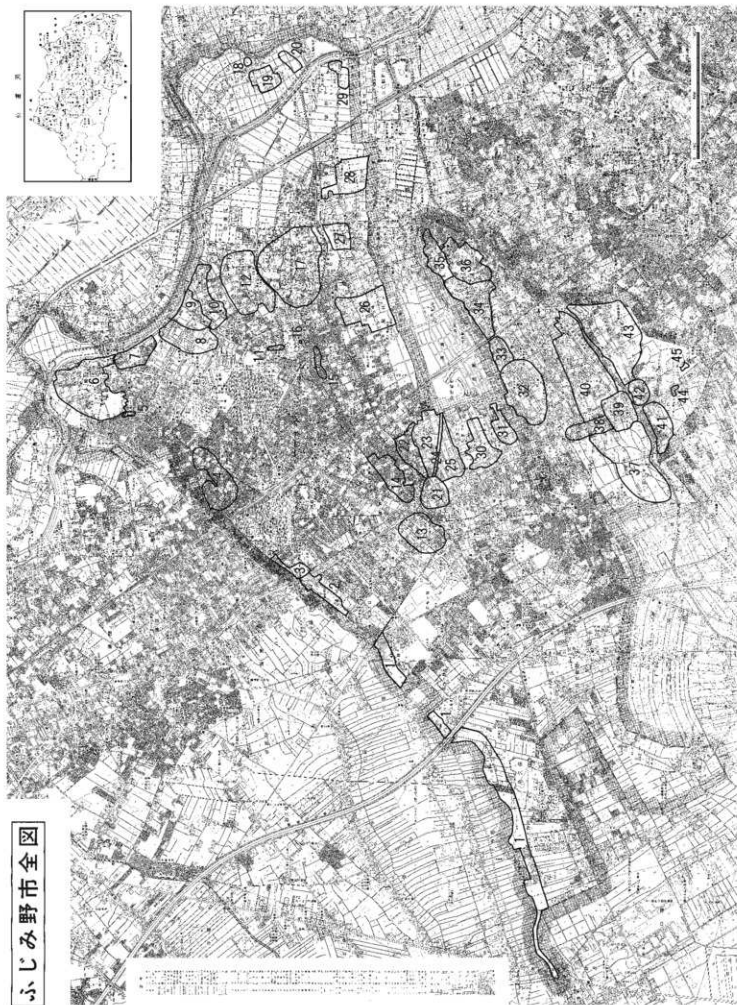
また、松山遺跡、駒林遺跡、亀久保堀跡遺跡、神明後遺跡では時期不詳の長大な堀跡が検出されている。

【近世】近世以降の遺跡は、多数の遺跡で遺物などが確認されている。主な近世遺跡の分布は中世村落から続く集落跡や、街道沿いの宿場や新河岸川の河岸跡、寺院跡などにみられる。中でも、川越街道沿い大井宿の範囲にある大井氏館跡遺跡、大井戸上遺跡や大井宿遺跡、亀久保村地蔵院の江川南遺跡、旧苗間村の寺院跡である浄禪寺跡遺跡、長宮水川神社周辺の長宮遺跡、新河岸川の舟運で栄えた福岡河岸の福田屋などでまとまった遺構と遺物が確認されている。また鷺森遺跡で、近・現代の盛り土の中から陶磁器が多数出土しているが、埋め立ての為に他から持ち込まれた可能性がある。

近世以降では、昭和初期の旧日本陸軍の軍需工場である造兵廠東京工廠福岡工場（通称火工廠）の跡地で、防壁土塁・防空壕・水溜・消火栓・排水橋などの遺構や遺物が、近年の調査で確認されている。

第1表 ふじみ野市遺跡一覧表

No.	遺跡名	主な時代	遺跡番号	No.	遺跡名	主な時代	遺跡番号
1	鶴ヶ岡外遺跡	旧石器、縄文早期の集落跡	30-048	25	東久保西遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-042
2	鶴ヶ岡遺跡	旧石器、縄文早期・中期の集落跡	30-047	26	駒林遺跡	縄文中期、近世の堀跡・中世の墳墓	25-013
3	西遺跡	縄文中期の集落跡	25-001	27	福岡新田遺跡	縄文時代の散布地、中・近世寺院	25-015
4	北野遺跡	縄文中期、奈良・平安の集落、中近世	25-002	28	鷺森遺跡	縄文前期の集落跡	25-017
5	川崎横穴墓群	古墳後期の横穴墓	25-004	29	伊佐島遺跡	古墳前期、平安の集落跡	25-021
6	川崎遺跡	旧石器、縄文前期・中期、古墳前期・中期、奈良・平安の集落跡	25-003	30	東中学校西遺跡	縄文早期・中期、近世の集落跡	30-008
7	ハケ遺跡	縄文中期の集落跡、奈良・平安の集落跡	25-005	31	東久保南遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-032
8	上福岡貝塚	縄文前期、古墳前期、奈良・平安の集落跡	25-006	32	西ノ原遺跡	旧石器、縄文早期・中期・後期、奈良・平安～近世の集落跡	30-001
9	椎見山遺跡群（古墳群）	古墳前期の集落跡・古墳群、縄文中期、奈良・平安の集落	25-007	33	中沢前遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-044
10	滝遺跡	縄文時代、古墳前期・中期、奈良・平安、近世の集落跡	25-008	34	神明後遺跡	旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡	30-041
11	西原遺跡	縄文の散布地	25-025	35	苗間東久保遺跡	旧石器、縄文早期～後期	30-020
12	長宮遺跡	縄文前期、中・近世の集落跡	25-009	36	浄禪寺跡遺跡	旧石器、縄文早期・中期、中・近世の集落跡、近世寺院跡	30-022
13	亀居遺跡	旧石器、縄文前期・中期の集落跡	30-030	37	小田久保遺跡	旧石器、縄文早期～中期、中・近世の集落跡	30-040
14	鶴ヶ岡遺跡	旧石器、縄文中期、奈良・平安の集落跡	30-046	38	大井宿遺跡	近世～近代の宿場跡	30-010
15	富士見白横穴墓群	古墳後期の横穴墓	25-011	39	大井氏館跡遺跡・大井戸遺跡	旧石器、縄文前期・中期、中・近世の集落跡	30-037
16	福遺跡	古墳後期の横穴墓	25-023	40	木村遺跡	旧石器、縄文早期～後期、中・近世の集落跡	30-034
17	松山遺跡	奈良・平安、中・近世の集落跡	25-010	41	西台遺跡	旧石器、縄文中期、奈良・平安、近世の集落跡	30-039
18	天神廻遺跡	古墳中期の散布地	25-018	42	大井戸上遺跡	旧石器、縄文前期・中期、近世の集落跡	30-014
19	城山遺跡	中・近世の館跡	25-019	43	東台遺跡	旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡、製鉄遺跡	30-024
20	川袋遺跡	奈良・平安の散布地	25-020	44	大井宿木戸跡	近世～近代の宿場跡	30-049
21	江川南遺跡	旧石器、縄文中期、中・近世の集落跡	30-007	45	石塔畑	中世の散布地	30-027
22	江川東遺跡	奈良・平安、近世の集落跡	30-045				
23	東久保遺跡	旧石器、縄文中期、近世の集落跡	30-009				
24	亀久保堀跡遺跡	中世の堀跡	30-006				



第2章 滝遺跡第15地点の調査

I 遺跡の立地と環境

滝遺跡は武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出した武蔵野段丘面の台地東側をおりた一段低い立川段丘面の縁に立地している。

「滝」の地名は、近年までこの段丘上から滝が落ちていたことに由来する。北西側は段丘面、北東側は新河岸川を挟んで荒川低地の沖積地と接し、南側は排水溝として利用される緩やかな小支谷を流れる旧清水に扶まれ、標高9～12m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北250m、東西500m以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、北西側の段丘上に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の遺跡である著名な上福岡貝塚と権現山遺跡群が新河岸川沿いに並び、旧清水を挟んだ南側には、縄文時代、飛鳥時代、中・近世の長宮遺跡が広がる。

1976年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、遺跡の谷口に当たる旧丸橋遺跡（1981年の変更増補で滝遺跡と合併）で古墳時代前期と後期の住居跡を検出以

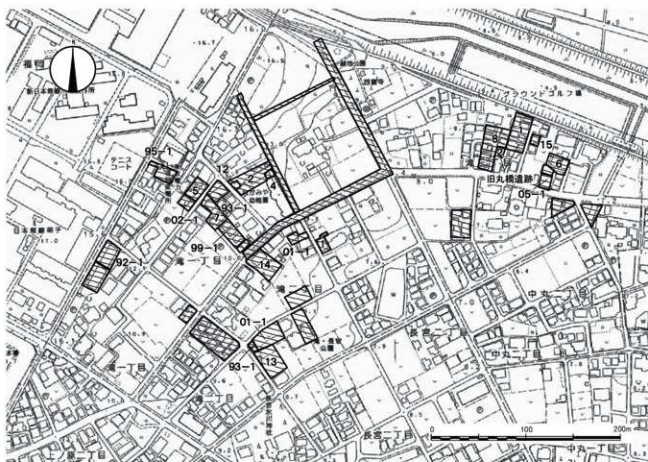
て21ヶ所で調査が行なわれている。なお、本遺跡の第3・5・9～11次調査、1995年度試掘調査・2002年度試掘調査(1)は権現山遺跡の範囲に入っているため、今後は本遺跡では欠番とし、権現山遺跡1・2・5～7・14・17地点とする。

遺跡の主たる時代と遺構は、縄文時代早期・前期の土坑、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡、近世の段切り遺構（集石を伴う）である。

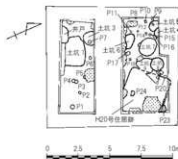
II 本調査に至る経過と調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2009年7月24日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内に位置するため、原因者と協議の結果、遺構等の存在を確認するための試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年9月2日から14日まで行なった。幅約3mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、平安時代の住居跡、近世以降の土坑、井戸、ピット等を確認した。旧



第3図 滝遺跡の地形と調査区 (1/4,000)



第4図 滝道跡第15地点遺構配置図 (1/300)

石器時代の確認調査は行っていない。

地表面から遺構確認面までの深さは約40cmであり、開発による遺跡への影響が避けられないため原因者と再度協議の結果、原因者負担による本調査を実施した。

本調査は2009年10月23日から11月6日まで行ない、奈良・平安時代住居跡1軒、近世以降の土坑8基、井戸1基、ピット20基を検出した。

Ⅲ 遺構と遺物

① H20号住居跡

【位置】旧丸橋道跡第1次12号住居跡(1978年調査)の東方約10mに位置し、住居跡全体の約2/3を検出した。

【形状・規模】東側部分は調査区内に収まると見られるが、攪乱が著しい。

主軸方位はN-70°-W、北西壁に竈を備える。

平面形態は隅丸長方形、規模は3.7m以上×3.5m、深さ39.8cmである。

【貼床・周溝】厚さ1～4cmの貼床がみられる。周溝は北東壁の一部と竈の前部分で途切れる。幅5～15cm下幅2～6cm深さ2.8～8.2cmである。

【竈】住居跡北西壁の中央部に構築され、西側の約半分を土坑8・9に削平される。褐色土で構築された袖の一部のみが残存する。内部の奥壁は良く焼け焼土面がみられる。袖部の最大幅78cm、竈内部は幅42cm、奥行き100cmで床面からの深さは9.3cmである。土製の支脚は直立した状態で出土する。

【貯蔵穴】住居跡西側の隅に位置し、平面形態は不整形を呈する。規模は84cm×(41)cm、深さ4.9cmで口縁部を下にした状態で土師器の甕が出土する。

【遺物出土状況・出土遺物】竈内と竈周辺部の床面、貯蔵穴内から出土する。遺物の詳細は第3表のとおりである。

【時期】8世紀

② 井戸

井戸は調査区の西端に位置し、一部を検出したのみで全容は不明である。検出部の平面形態は半円形で、規模は確認面径(123)×(69)で、深さは地表面から約1.9mまで確認したが不明である。

③ 土坑・ピット

出土遺物、覆土層の観察から近世以降に属するとみられる。詳細は第2表のとおりである。土坑2、ピット№13・19・21・22は欠番である。

第2表 滝道跡第15地点土坑・ピット一覧表 (単位:cm)

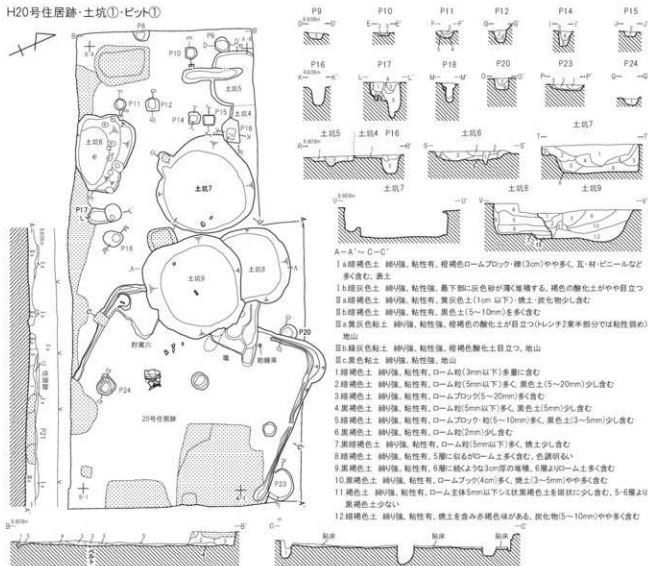
No	平面形態 (方形)	確認面径	底径	深さ	備考
土坑1	(方形)	230×(197)	220×(193)	14.1	
土坑2	欠番				
土坑3	不明	104×(79)	82×(63)	7.3	
土坑4	不明	-	-	-	
土坑5	不明	86×(68)	78×(62)	13.5	
土坑6	隅丸方形	126×93	90×49	24.2	
土坑7	円形	163×150	134×123	48.1	
土坑8	円形	122×(78)	101×(63)	50.4	
土坑9	円形	165×156	130×127	51.3	
P1	円形	30×25	11×9(25×13)	35.2	
P2	円形	25×21	11×8	15.0	
P3	円形	37×25	9×6	37.2	
P4	円形	30×23	13×11	8.8	
P5	隅丸方形	26×21	5×4	56.4	
P6	楕円形	29×18	10×5	24.4	
P7	隅丸方形	32×27	13×10	19.6	
P8	半円形	25×16	13×11	27.2	
P9	円形	24×24	20×15	10.0	
P10	方形	19×18	15×12	6.6	
P11	円形	18×18	15×10	12.0	
P12	方形	21×20	15×11	19.6	
P13	欠番				
P14	方形	19×18	12×9	25.4	
P15	方形	19×16	15×13	7.7	
P16	方形	37×26	16×13	29.8	
P17	楕円形	54×27	9×6	52.8	
P18	楕円形	31×25	12×12	20.4	
P19	欠番				
P20	不明	27×(21)	17×16	23.5	
P21	欠番				
P22	欠番				
P23	不明	52×(35)	43×(30)	9.0	
P24	方形	29×27	16×11	13.3	

第3表 滝道跡第15地点出土遺物観察表

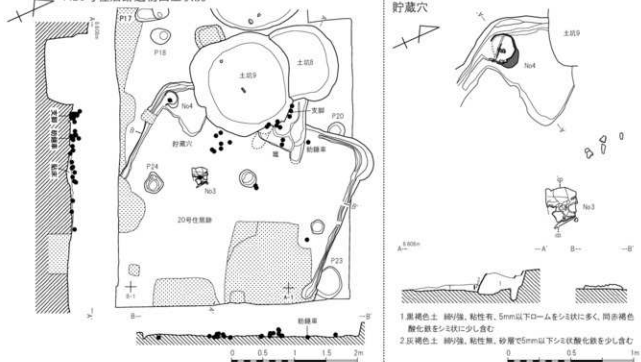
()推定 単位cm・g

No	出土遺物名	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	器高・厚さ	技法・文様・その他	推定産地	推定年代	残存・備考
1	H20号住居跡床面	土師器/坏	—	—	0.6-0.8	口縁部外反/胎土:砂粒多く含む、橙色	—	8C	口縁部片
2	H20号住居跡床面	土師器/甕	—	—	0.5	体部内面撫で、黒彩?	—	—	口縁部片
3	H20号住居跡床面	土師器/甕	—	—	0.5-0.8	縦方向の荒削り。胎土:砂粒多く含む、橙色	—	—	胴部
4	H20号住居跡貯蔵穴	土師器/甕	—	8.0	0.6-0.8	外面縦方向の荒削り、内面木口状工具による撫で/胎土:砂粒多く含む、橙色	—	—	胴部-底部
5	H20号住居跡覆土	土製品/粘鉢車	3.8	3.1	2.4	断面:台形、孔径0.38-0.68/重量41.29g	—	—	完形
6	H20号住居跡蓋	土製品/支脚	—	10.5	12.7	円筒形?/重量579.57g	—	—	1/2
7	井戸(旧土坑2)	磁器/急須蓋	受部径6.9	柄み径1.2	2.1	轆轤成形/柄み貼付け/穿孔/コバルト染付/草花文様	不明	1870年代以降	完形
8	井戸(旧土坑2)	磁器/戸車	直径(9.6)	—	2.1	轆轤成形/白磁/側面無釉で砂付着/軸孔径3.1cm/重量109.64g	肥前系	1780-1860年代	1/2以下
9	井戸(旧土坑2)	磁器/磁鉢	(36.2)	—	—	轆轤成形/内面髹目/胎土:赤褐色	堺・明石系	1820-1860年代	口縁部破片
10	井戸(旧土坑2)	土製品/面子	3	2.5	1.5	瓦質の破片を転用/楕円柱形に全面研磨/重量14.06g	—	近世	完形
11	井戸(旧土坑2)	石製品/砥石	15.6	2.8	3.4	石質:灰白色緻密質/小口面に髹目状調整痕/重量222.3g	—	中世以降	筆置形で遺存
12	土坑1	磁器/小坏	(7.0)	3.1	5.1	轆轤成形/染付/海辺帆船文様	不明	1850-1870年代	1/2
13	土坑1	磁器/碗	—	—	—	轆轤成形/染付	瀬戸・美濃系	1840-1850年代	口縁部破片「輪反転」
14	土坑1	磁器/香炉	—	4.2	—	轆轤成形/足貼付け/外面青磁/磁鉢形高台/重量3.47g	肥前系	1780-1860年代	底部破片
15	土坑1	鉄質磁器/皿	(21.0)	—	—	型打ち成形/銅版転写絵付/ワイルド・ローズ文様/貫入顕著	ヨーロッパ系	1860-1880年代	口縁部破片
16	土坑1	鉄質磁器/皿	—	(12.5)	—	型打ち成形/銅版転写絵付/風景、ワイルド・ローズ文様/高台内に刷印/貫入顕著	ヨーロッパ系	1860-1880年代	底部破片
17	土坑1	陶器/皿	(26.3)	—	—	轆轤成形/鉄・呉須絵、灰輪/草花文様	瀬戸・美濃系	1820-1870年代	口縁部破片「右皿」
18	土坑1	陶器/土瓶蓋	受部径5.3	上面径7.6	2.2	轆轤成形/柄み貼付け/糸目回転痕文、鉄輪/内面に刷印「タチ」ヤマに「木」跡/柄み径1.3cm	瀬戸・美濃系	1800-1860年代	「熟知土瓶」
19	土坑1	磁器/大甕	—	—	—	造り成形/胎土:赤褐色	常滑系	1850年代以降	底部破片
20	土坑1	土製品/泥面子/芥子面	2.1	2.8	0.7	型抜き成形/モチーフ:海老/裏面下端に針穴(奥行14mm)/重量3.47g	江戸近郊	1790-1890年代	完形「泥メンチ」
21	土坑1	瓦/棧瓦	—	—	—	下面に筋目/胎土色均一	—	近代	細片
22	土坑6	磁器/皿	—	(12.4)	—	轆轤成形/染付/松文様	肥前系	18C	底部破片
23	土坑7	陶器/灯明皿	—	(5.2)	—	轆轤成形/鉄輪/内面に煤、下面にタール付着	志戸呂系	1690-1790年代	底部破片
24	土坑9	石製品/砥石	7.9	2.9	1.8	石質:灰白色緻密質/表面黒色化/重量45.73g	—	中世以降	—
25	P5	陶器/灯明受皿	—	—	—	轆轤成形/受部貼付け/灰輪	信楽系	1860-1890年代	受部破片

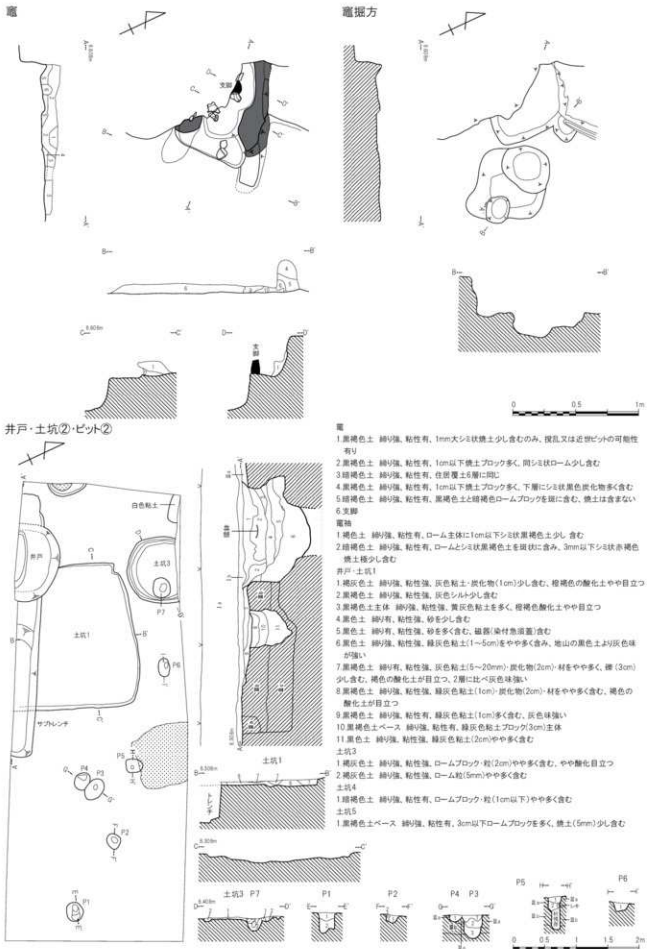
H20号住居跡・土坑①・ピット①



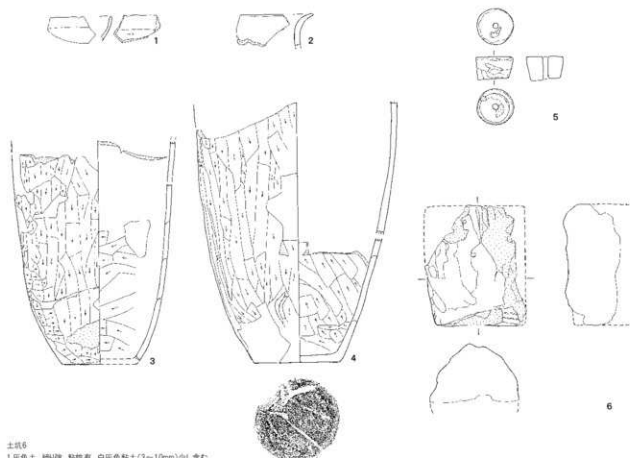
H20号住居跡遺物出土状況



第5図 滝道跡第15地点H20号住居跡・遺物出土状況図 (1/60)、貯蔵穴 (1/30)、土坑①・ピット① (1/60)



第6図 滝遺跡第15地点H20号住居跡(1/30)、井戸・土坑②・ピット②(1/60)



土坑6

- 1 灰白色土 締り強、粘性有、白灰色粘土(3~10mm)少し含む
 2 褐色色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)3層より少し含む
 3 褐色色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)少し、焼土わずかに含む
 4 褐色色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm)、白灰色粘土やや多く含む
 5 褐色色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm)少し、炭化物(5~10mm)やや多く含む

土坑7

- 1 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(3cm以下)やや多く含む
 2 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(3cm以下)主体
 3 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm)少し含む
 4 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(2cm以下)やや多く含む
 5 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(3cm以下)やや多く含む、ローム粒は少ない
 6 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(3cm以下)やや多く含むが、5層よりは少なく全体の色調は暗い

土坑8・9

- 1 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒・炭化物(3mm)少し含む
 2 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm以下)多く含む
 3 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒・焼土(5mm)やや多く含む
 4 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1.5cm)、ローム粒やや多く含む
 5 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒・焼土・炭化物(5mm)少し含む
 6 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒・焼土(5mm)少し含む、茶褐色の酸化土が目立つ
 7 暗褐色土主体 締り強、粘性有、黄灰色土(1cm以下)多く含む
 8 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(2cm以下)多く含む
 9 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1.5cm以下)多く、焼土(3mm)少し含む
 10 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック・粒(1.5cm以下)多く、黒褐色土(1.5cm以下)・焼土(3mm)少し含む
 11 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(3cm以下)少し含む
 12 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(2cm以下)多く含む、10層よりローム粒が少ない、焼土(5mm)少し含む

ピット1

- 1 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm)多く含む、ロームは暗褐色のものが目立つ
 2 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm)やや多く含む

ピット2

- 1 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm)やや多く含む
 2 黒褐色土ベース 締り強、粘性有、ローム土主体

ピット3

- 1 黒褐色土 締り強、粘性有、青灰色土ブロックやや多く、暗褐色土少し含む
 2 黒褐色土主体 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm)多く含む
 3 黒褐色土 締り強、粘性有、青灰色土・暗褐色土(5~10mm)少し含む

ピット4

- 1 黒褐色土 締り強、粘性有、青灰色土ブロック多く含む、暗褐色土少し含む

ピット5

- 1 ピット6の1層に同じ土質で締り強
 2 褐色色土 締り強、粘性有、ローム粒少し、植物遺体多く含む、縦(6cm)含む

ピット6

- 1 褐色色土 締り有、粘性有、シルト質酸化土目立つ

ピット7

- 1 ピット6の1層に同じ

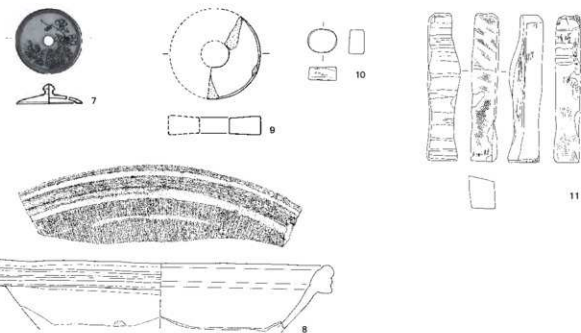
- 2 褐色色土主体 締り強、粘性有、ロームブロック(2cm)多く含む

ピット8~12

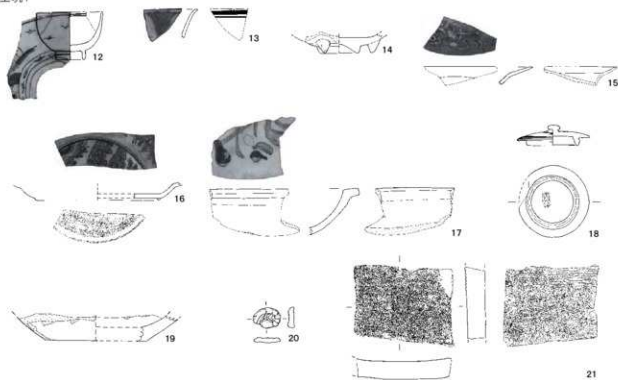
- 1 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(2cm)多く、黒褐色土やや多く含む
 2 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)やや多く含む、灰色味がある
 3 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)多く含む
 4 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)少し含む
 5 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム土多く含む、色調暗い
 6 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム主体にシルト状に黒褐色土少し含む

第7図 滝道跡第15地点H20号住居跡出土遺物(1/4)、土層説明

井戸



土坑1



土坑6



土坑7



土坑9



P5



第8図 濠遺跡第15地点出土遺物 (1/4)

第3章 長宮遺跡第30地点の調査

I 遺跡の立地と環境

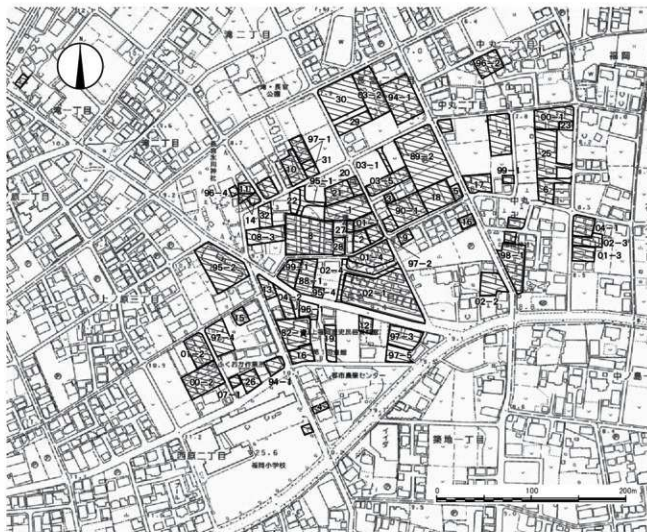
長宮遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出した武蔵野段丘面の台地東側をおりた一段低い立川段丘面に立地している。この低位の段丘面には「熊の山」と呼ばれた山林を湧水源とする清水が流れ（現在は排水溝として利用）、幅100mほどの緩い小支谷を形成し、清水の北側左岸に滝遺跡、南側右岸に長宮遺跡が分布する。北東側は荒川低地の沖積地と接し、500m南側には福岡江川が流れ、標高9～10m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北300m、東西500m以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

遺跡の西方には長宮水川神社があり、この神社の縁起伝承には「長宮千軒町」として繁盛したが、戦国期に壊滅した旨が記されている。周辺の遺跡は、北側に縄文時代早・前期、古墳時代前・後期から奈良・平安

時代の遺跡である滝遺跡、南側には飛鳥・奈良・平安時代、中・近世の松山遺跡が隣接する。1977年の保育園建設に伴う緊急調査で中世の屋敷地と思われる遺構群を検出したのをはじめ、宅地造成などにより2011年12月現在76ヶ所で調査を行なっている。主たる時代と遺構は縄文時代早期後葉から前期・中期・後期前葉までの集落跡、南側の松山遺跡寄りに飛鳥時代の住居跡、中世末から近世初頭の屋敷跡や長宮水川神社参道に関係のある溝跡などである。

II 本調査に至る経過と調査の概要

調査は老人福祉施設建設に伴うもので、原因者より2009年8月19日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内に位置するため、原因者と協議の結果、遺構等の存在を確認するための試掘調査を実施した。



第9図 長宮遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

試掘調査は2009年9月28日から11月2日まで行なった。幅約2mのトレンチ7本、1.5mのトレンチ1本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、土坑、ピット、井戸、溝等を確認した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

建物建設予定地の、遺跡確認面までの深さは約30～40cmであり、遺跡への影響が避けられないため原因者と再度協議の結果、原因者負担による本調査を実施した。

本調査は2009年11月4日から12月8日まで行ない、井戸7基、土坑9基、ピット8基、溝2本等を検出した。

Ⅲ 遺構と遺物

①井戸

井戸は7基検出し、井戸8の底部からまとまった遺物が出土している。詳細については第4表のとおりである。

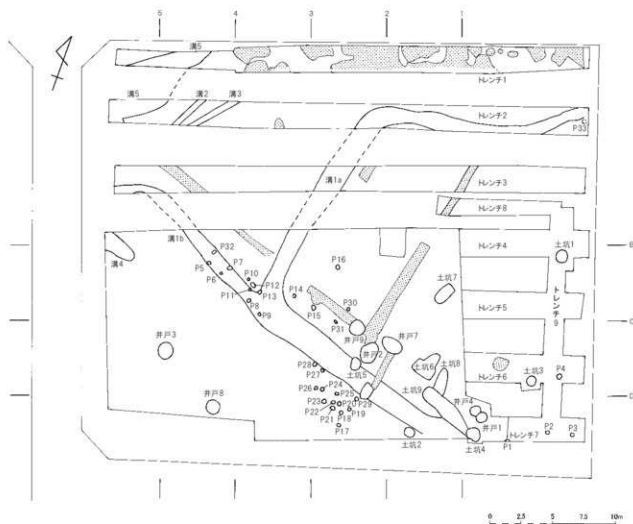
②土坑・ピット・溝・出土遺物

出土遺物、覆土層の観察から近世以降に属するとみられる。詳細は第4～7表のとおりである。

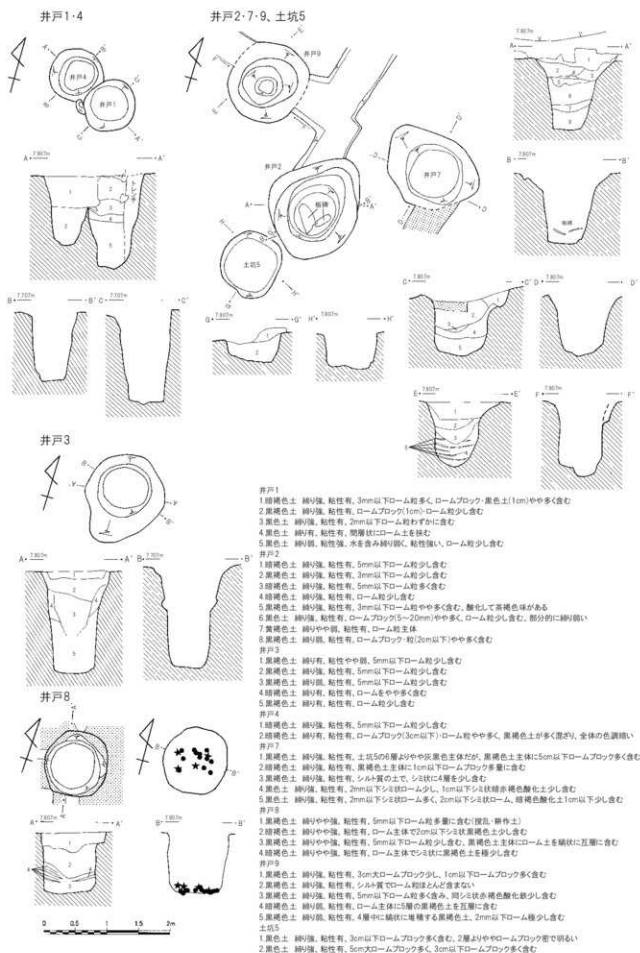
ピットNo13・19・21・22は欠番である。

第4表 長宮遺跡第30地点井戸・土坑一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
井戸1	円形	86×78	58×54	147.5	第11回
井戸2	円形	174×143	70×60	125.7	第11回
井戸3	楕円形	148×128	71×61	163.4	第11回
井戸4	円形	83×82	53×44	110.2	第11回
井戸7	楕円形	160×117	76×72	108.4	第11回
井戸8	円形	103×99	70×68	98.0	第11回
井戸9	円形	130×114	23×20	123.2	第11回
土坑1	円形	127×111	116×102	19.0	第12回
土坑2	円形	84×78	66×60	57.0	第12回
土坑3	円形	80×70	47×44	79.6	第12回
土坑4	円形	108×103	88×84	47.8	第12回
土坑5	円形	102×92	80×78	52.9	第11回
土坑6	凸形	209×162	194×154	23.6	第12回
土坑7	長方形	170×90	—	25.0	第12回
土坑8	不明	(207)×69	(195)×52	15.8	第14回
土坑9	長楕円形	490×128	455×73	24.2	第14回

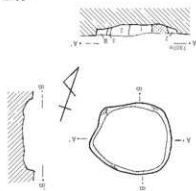


第10図 長宮遺跡第30地点遺構配置図 (1/300)

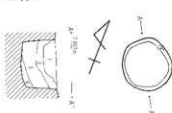


第11図 長宮遺跡第30地点井戸・土坑5 (1/60)

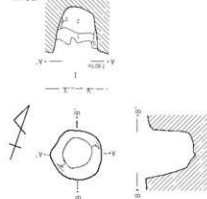
土坑1



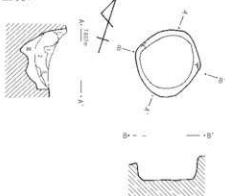
土坑2



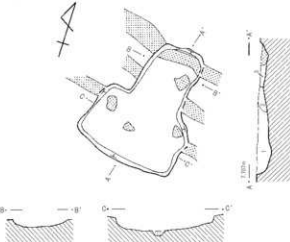
土坑3



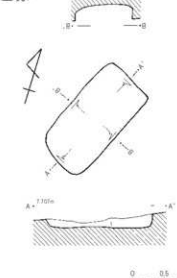
土坑4



土坑6



土坑7



I 黄土

II 溝1aベルト2層に似た土の盛り土、5mm以下ローム粒多く含む

III 地山・ローム

土坑1

- 1 黒褐色土 粘り強、粘性有、2mm以下ローム粒多く、5mm以下シミ状ロームを下部に少し含む
- 2 黒褐色土 粘り強、粘性有、1層より厚く、2mm以下ローム粒多量に含む、1cm以下シミ状酸化鉄多く含む
- 3 褐色土 粘り強、粘性有、ソフトローム主体に、3mm以下シミ状暗褐色土少し含む

土坑2

- 1 黒褐色土 粘り強、粘性有、平均1.5cm以下ロームブロック・ローム粒少し含む
- 2 黒褐色土 粘り強、粘性有、6cm以下ロームブロック5mm以下ローム粒多く含む
- 3 黒褐色土 粘り強、粘性有、ソフトローム土とレンズ状にやや多く、5mm以下ローム粒やや多く含む
- 4 暗褐色土 粘り中弱、粘性有、ローム土やや多く含む

土坑3

- 1 黒褐色土 粘り強、粘性有、ローム粒少し含む
- 2 黒色土 粘り強、粘性有、ローム粒わずかに含む
- 3 黒褐色土 粘り強、粘性有、ローム粒やや多く含む

土坑4

- 1 暗褐色土 粘り強、粘性有、5mm以下ローム粒やや多く含む、黒褐色土含む
- 2 暗褐色土 粘り強、粘性有、ロームブロック1~20cm多く、ローム粒やや多く含む
- 3 黒褐色土ベース 粘り強、粘性有、ロームブロック・ローム粒1cm以下多く含む

土坑6

- 1 黒色土 粘り強、粘性有、2cm以下ロームブロック多量に含む(土坑5の1~2層に類似)
- 2 黒色土 粘り強、粘性有、1層にほぼ同じだが、ロームブロック量が1/2以下多い
- 3 暗褐色土 粘り強、粘性有、中粒ロームブロック多量、ほとんど何も含まない

土坑7

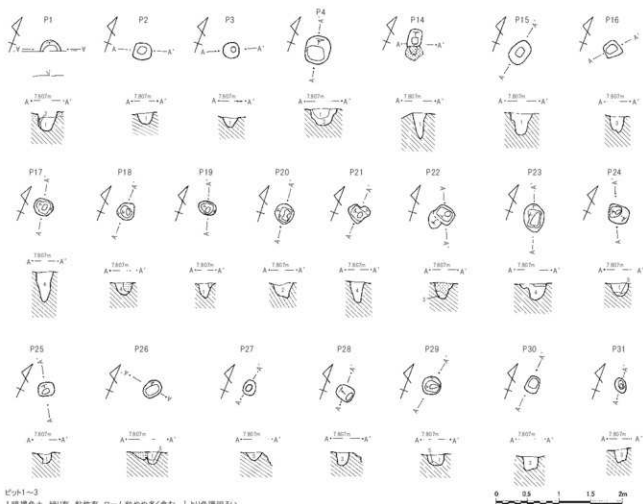
- 1 黒褐色土 粘り強、粘性有、黒色土主体に10cm大ロームブロック多く、1cm以下ロームブロック多量に含む

第12図 長宮遺跡第30地点土坑1~4・6・7 (1/60)

第5表 長宮遺跡第30地点溝一覧表

(単位:cm)

	断面形態	上幅	下幅	深さ	備考
溝1a	浅い皿状	120~145	19~27	11~46.5	「コ」字状に巡る
溝1b	薬研状	84~138	6~50	11.4~53	溝1aと平行する
溝2	「U」字状	46~51	24~33	14.9~16.6	
溝3	浅い皿状	50~67	30~47	4.1~16.4	
溝4	「U」字状	55~127	13~23	75.2~81	
溝5	浅い皿状	160以上	50~58	30.2	幅約15cmの工具痕有



ピット1-3

1.暗褐色土 粘り強、粘性有、ローム粒や多く含む。1より色調明い

2.暗褐色土 粘り強、粘性有、ロームブロック(1.5cm以下)主体

ピット4

1.黒褐色土 粘り強、粘性有、5mm以下ローム粒や多く含む

2.黒褐色土主体 粘り強、粘性有、ハーフロームブロック主体

ピット14-31

1.暗褐色土 粘り強、粘性有、1-2mm大ロームブロック少、2mm以下

ローム粒少し含む

2.暗褐色土 粘り強、粘性有、黒褐色土とロームの混合土

3.暗褐色土 粘り強、粘性有、明いロームブロック主体で、明に暗いロームブロック少し含む(P5-9他の2層に同じ)

4.暗褐色土 粘り強、粘性有、明いロームブロック主体で、明に暗いロームブロック少し含む(3層より全体に暗(黒)褐色土も少し多い)

5.暗褐色土 粘り強、粘性有、明いロームブロック主体で間に黒褐色土極少し含む、3層に類似する

ピット33

1.黒褐色土 粘り強、粘性有、ローム粒わずかに含む

2.黒褐色土 粘り強、粘性有、ローム粒(2mm)やや多く含む

3.黒褐色土 粘り強、粘性有、ローム粒少し含む

0 0.5 1 1.5 2m

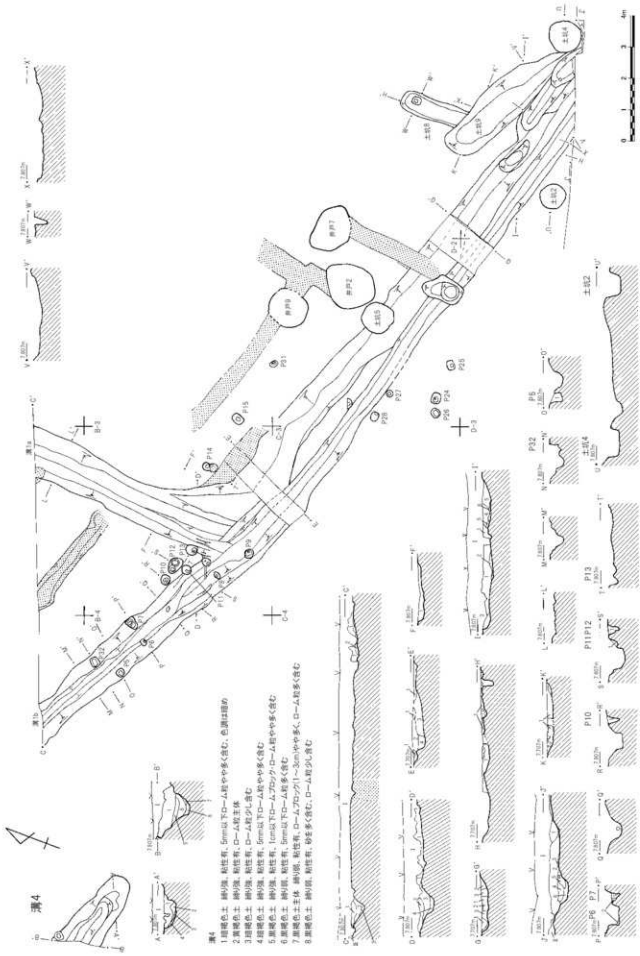
第13図 長宮遺跡第30地点ピット① (1/60)

第6表 長宮遺跡第30地点ピット一覧表

(単位:cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	不明	33×(17)	21×(10)	28.8	
2	方形	28×26	13×13	17.3	
3	円形	27×25	9×8	18.2	
4	方形	45×40	26×22	26.6	
5	方形	27×22	12×11	40.0	
6	隅丸方形	24×17	7×6	35.0	
7	隅丸三角形	38×29	13×8	27.0	
8	楕円形	25×13	9×7	33.2	
9	円形	30×26	8×6	21.3	
10	円形	32×29	11×7	47.4	
11	楕円形	33×26	12×5	32.4	
12	楕円形	58×40	18×16	41.4	
13	方形	37×32	7×5	32.9	
14	方形	49×21	11×11	45.1	
15	方形	38×28	14×11	40.5	
16	方形	26×23	18×11	29.6	
17	円形	30×24	10×7	50.8	

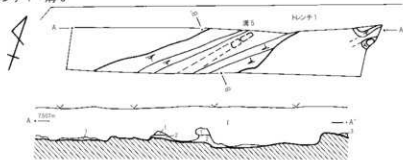
No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
18	円形	25×25	11×5	23.1	
19	楕円形	28×20	9×6	24.1	
20	円形	29×28	16×9	25.2	
21	不整形	29×26	9×6	35.6	
22	不整形	43×30	10×9	26.4	
23	楕円形	45×32	23×12	32.8	
24	方形	30×28	10×5	21.8	
25	方形	25×22	11×7	16.8	
26	隅丸方形	30×24	21×14	20.2	
27	方形	23×18	12×8	14.9	
28	方形	26×24	14×8	23.8	
29	円形	28×28	14×7	19.4	
30	方形	26×19	16×12	15.8	
31	楕円形	25×16	8×5	23.0	
32	方形	34×25	24×15	35.0	
33	不明	27×(15)	18×12	76	



- 溝4
- 1 黒褐色土 粘り強、粘性有、5cm以下D-A層中や多心径釘、色澤は暗の
 2 黒褐色土 粘り強、粘性有、D-A層主体
 3 黒褐色土 粘り強、粘性有、D-A層少し含む
 4 黒褐色土 粘り強、粘性有、5cm以下D-A層中や多心径釘
 5 黒褐色土 粘り強、粘性有、1cm以下D-A層中や多心径釘
 6 黒褐色土 粘り強、粘性有、5cm以下D-A層多心径釘
 7 黒褐色土 主体 粘り弱、粘性有、D-A層70%以下、D-A層少し含む
 8 黒褐色土 粘り強、粘性有、砂多心径釘、D-A層少し含む

第14図 長宮遺跡第30地点溝① (1/120)

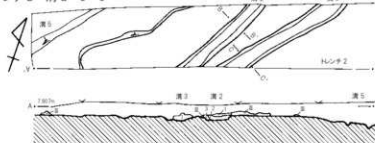
トレンチ 1・溝 5



トレンチ 1 A-A'

1. 黒色土 粘り強、粘性有、2mm以下ローム粒極少、同シニ状酸化痕少し含む
2. 黒色土 粘り強、粘性有、5mm以下シニ状酸化痕やや多く、同ロームブロック極少、2mm以下ローム粒やや多く含む
3. 暗褐色土 粘り強、粘性有、ロームブロックの間にシニ状黒褐色土(2cm以下)やや多く含む

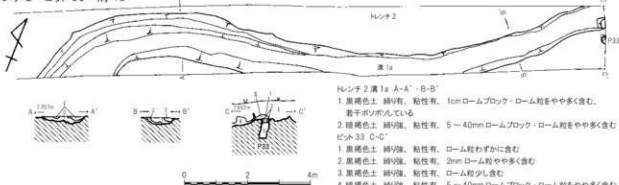
トレンチ 2・溝 2・3・5



トレンチ 2 A-A'

- 溝 2
 1. 黄褐色土 粘り有、粘性有、東褐色土主体にロームブロック含む
 2. 黒褐色土 粘り有、粘性有、ローム粒をほとんど含まず、やや灰色味があふ、表土の土質にも似る
 3. 黄褐色土 粘り強、粘性有、東褐色土主体にロームブロック含む
- 溝 3
 1. 暗褐色土 粘り強、粘性有、5mm以下ローム粒やや多く含む

トレンチ 2・ピット 33・溝 1a



トレンチ 2 溝 1a A-A'・B-B'

1. 黒褐色土 粘り有、粘性有、10cmロームブロック・ローム粒をやや多く含む、若干ボロボロしている
2. 暗褐色土 粘り強、粘性有、5~40mmロームブロック・ローム粒をやや多く含む
3. 黒褐色土 粘り強、粘性有、ローム粒わずかに含む
4. 黒褐色土 粘り強、粘性有、2mmローム粒をやや多く含む
5. 黒褐色土 粘り強、粘性有、ローム粒少し含む
6. 暗褐色土 粘り強、粘性有、5~40mmロームブロック・ローム粒をやや多く含む

C-C'

1. 暗褐色土 粘り強、粘性有、10cmロームブロック・ローム粒少し含む
2. 黄~暗褐色土 粘り強、粘性有、5mm以下ローム粒をやや多く含む、1層より粘り強い
3. 暗褐色土 粘り強、粘性有、ローム粒少し含む、2層より粘り強い

D-D'・F-F'

1. 暗褐色土 粘り強、粘性有、20cmロームブロック少し、ローム粒やや多く含む
2. 暗~黒褐色土 粘り強、粘性有、20cmロームブロック・ローム粒少し含む
3. 暗褐色土 粘り強、粘性有、ローム粒少し、赤褐色酸化土少し含む
4. 黄褐色土 粘り強、粘性有、2mm以下ローム粒少し含む

E-E'

1. 黒褐色土 粘り強、粘性有、全体にローム粒、3mm以下ローム粒少し含む、耕作の痕跡
2. 暗褐色土 粘り強、粘性有、3mm以下ローム粒をやや多く含む
3. 黒褐色土 粘り強、粘性有、3mm以下ローム粒多量に含む
4. 黄褐色土 粘り強、粘性有、2mm以下ローム粒少し含む

G-G'

1. 黒褐色土 粘り強、粘性有、10cmローム少し、3mm以下ローム粒をやや多く含む
2. 黒褐色土 粘り強、粘性有、10cmロームを多く、3mm以下ローム粒多量に含む
3. 黒褐色土 粘り強、粘性有、10cmローム極少し、3mm以下ローム粒多く含む

H-H'・K-K'

1. 黒褐色土 粘り強、粘性有、1~2cm大ロームブロック少し、3mm以下ローム粒多く含む

I-I'

1. 暗褐色土 粘り強、粘性有、10cmロームブロック・ローム粒をやや多く含む
2. 黒褐色土 粘り強、粘性有、10cmロームブロック・ローム粒をやや多く含む
3. 黒褐色土 粘り強、粘性有、ローム粒少し含む
4. 暗褐色土 粘り強、粘性有、ローム土を多く含む色調明るい、20cmロームブロック・ローム粒多く含む
5. 暗褐色土 粘り有、粘性有、10cmロームブロック・ローム粒をやや多く含む
6. 灰褐色土 粘り強、粘性有、ローム粒少し含む

J-J'

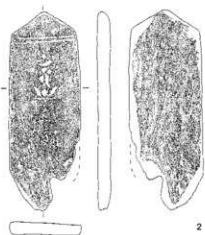
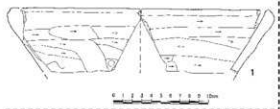
1. 暗褐色土 粘り有、粘性有、1~10cmロームブロック・5mm以下ローム粒をやや多く含む、凹凸返しの可能性有
2. 暗褐色土 粘り強、粘性有、10cm以下ロームブロック・粒をやや多く含む
3. 黒褐色土 粘り強、粘性有、3mm以下ローム粒多く含む
4. 黒褐色土 粘り強、粘性有、5~10mmロームブロック少し、3mm以下ローム粒をやや多く含む
5. 黒褐色土 粘り強、粘性有、5~20mmロームブロックをやや多く、3mm以下ローム粒少し含む、4層より色調明るい
6. 黒褐色土 粘り強、粘性有、西部にローム粒集中してやや多く含む、東部分のローム粒は少ない、砂を含む

O-O'・P-P'・R-R'・S-S'

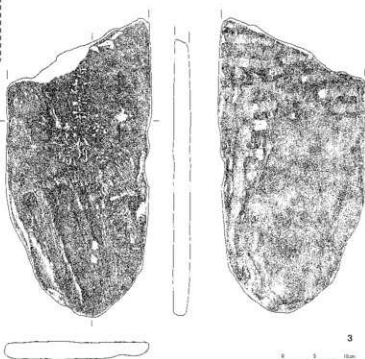
1. 暗褐色土 粘り強、粘性有、20cm以下の明いロームブロックと暗いロームの混合
2. 暗褐色土 粘り強、粘性有、明いロームブロック主体で、間に暗いロームブロックを少し含む
3. 黒褐色土 粘り強、粘性有、暗いロームブロック主体で、1cm以下明いロームブロック少し含む

第15図 長宮遺跡第30地点溝②・ピット② (1/120)

井戸2



2

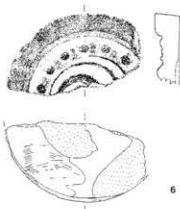


3

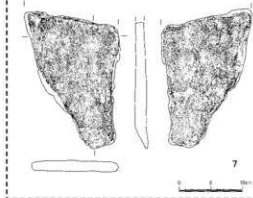
井戸8



4



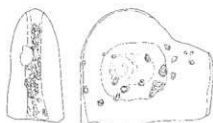
6



7



5



9



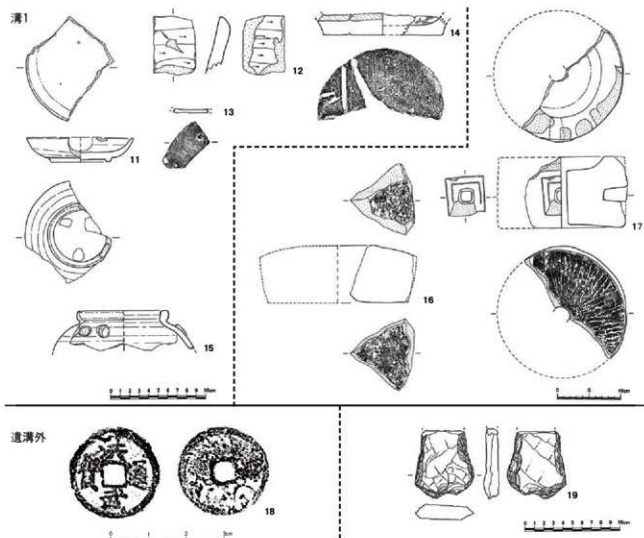
8

井戸9



10

第16図 長宮遺跡第30地点出土遺物① (1/4・1/6)



第17図 長宮遺跡第30地点出土遺物② (1/4・1/6・1/1)

第7表 長宮遺跡第30地点出土遺物観察表

()推定値 単位:cm・g

No.	出土遺物名	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	器高・厚さ	技法・文様・その他	推定産地	推定年代	残存・備考
1	井F2	瓦質土器/片口鉢	(27.6)	—	—	経積み成形/口縁部・内面ナ字調整/体部外面に指面痕	在地系	13C後半~14C	口縁部破片
2	井F2	石製品/板磚	31.8	11.6	2.6	土尊種子/バン(金剛界大日如来)/装飾:二重線・蓮華/銘文:文和「工」十月「廿七日/石質:緑色片岩/重量5.330g	—	1352~1355年	略定形 銘文摩耗
3	井F2	石製品/板磚	—	23.2	2.9	装飾:蓮華/銘文:「口」建ナ)武三年「内ナ」八月「廿」日/背面横方向に整調整痕(幅16mm)/石質:緑色片岩/重量1.449.56g	—	1336年	銘文摩耗
4	井F8	土器/埴器	—	—	—	輪積み成形/胎土:浅黄褐色/外面下半に輪れ目	—	18C	口縁部破片
5	井F8	土器/埴器	—	(34.4)	—	輪積み成形/内面ナ字調整/外面に煤付着・磨れ目/胎土:灰白色・層状に焼成ムラ	—	中・近世	底部破片
6	井F8	瓦・軒丸瓦	瓦当径(17.4)	—	瓦当厚2.9	瓦当文様:巴・珠文	—	近世	瓦当部破片
7	井F8	石製品/板磚	—	13.8	2	石質:緑色片岩/重量205.16g	—	中世	基部破片
8	井F8	石製品/砥石	11.3	3	4.2	石質:灰白色緻密質/表面黒褐色化/重量159.06g	—	中世以降	海風形で遺存
9	井F8	石製品/石皿	—	14.1	5.5	石質:石葉閃緑岩/裏面黒色化/重量/重量1.361.56g	—	不明	1/2
10	井F9	陶器/灯明皿台	—	—	—	轆轤成形/灰釉/貫入有り	瀬戸・美濃系	1720~1740年代	受部破片
11	溝1	陶器/皿	(11.2)	6.2	2.6	轆轤成形/長石軸/内面と高台内にビン痕	瀬戸・美濃系	1590~1660年代	「志野皿」
12	溝1	瓦質土器/片口鉢	—	—	—	経積み轆轤成形/体部外面に指面痕/胎土:明オリーブ灰色	在地系	13C後半	口縁部破片
13	溝1	土器/カワラケ	—	—	—	轆轤成形/底部に轆轤回転軸切痕	江戸・京野系	近世	底部破片
14	溝1	瓦質土器/片口鉢	—	13	—	経積み成形/内外面に若干の煤付着・内面に敲打痕	在地系	中世	底部破片
15	溝1	陶器/甕	(9.6)	—	—	轆轤成形/耳取付け/鉄(棒)轆	瀬戸・美濃系	近世	耳部欠損/口縁部に重むき痕
16	溝1	石製品/石臼/石臼	—	—	9.3	石質:石葉閃緑岩/欠損面を含む外面に煤付着/重量2.937.48g	—	中世以降	目は磨減
17	溝1	石製品/茶臼/土臼	直径(21.0)	—	11.3	石質:安山岩/腕手穴の装飾:二重正方形・穴幅2.0cm/重量1.194.97g	—	中世	—
18	遺溝外	金属製品/銭貨/清武通宝	2.4	2.3	0.1	材質:銅/孔径5mm/重量2.77g	—	—	初騎年代1368年
19	遺溝外	石器/打製石斧	7.2	6.3	1.5	石質:ホルンフェルス/重量96.38g	—	—	縄文時代

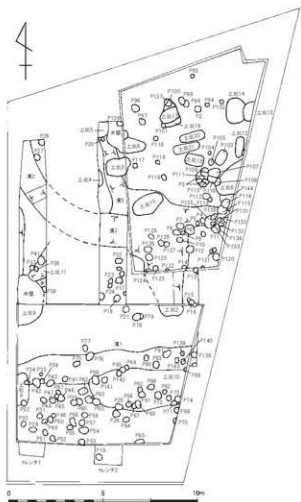
第4章 長宮遺跡第32地点の調査

I 本調査に至る経過と調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2009年12月3日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の範囲内に位置するため、原因者と協議の結果、遺構等の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2010年1月15日から25日まで行なった。幅約1.5mのトレンチ3本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、土坑、ピット、溝等を確認した。遺跡確認面までの深さは約50cmであり、遺跡への影響が避けられない建物建設部分について、原因者と再度協議の結果、原因者負担による本調査を実施した。

本調査は2010年2月4日から26日まで行ない、土坑20基、ピット142基、溝3本を検出した。なお、旧石器時代の確認調査は行なっていない。



第18図 長宮遺跡第32地点遺構配置図 (1/200)

II 遺構と遺物

①土坑・ピット

土坑10は調査段階で土坑の名称を付したが、溝1と並行し断面も葉研状を呈するため溝の可能性が高い。土坑9は調査区外に延びるため一部を検出した。円形で他の土坑より深いため井戸と考えられる。ピットの分布は、溝1の南側と溝2と重複する範囲に集中する。溝2の北側ピット群は平面形態が方形を呈するものが多い。土坑、ピットは中世以降に属するとみられる。詳細は第8・9表のとおりである。

②溝

試掘調査の溝3・4は本調査で土坑20・21に変更した。

【溝1】東西方向に延び、土坑8・10より新しい。断面形態は浅い「V」字状で、規模は上幅116～155cm、下幅15～26cm、深さ17.8～46.2cmである。

【溝2】クランク状を呈し、規模は上幅155～178cm、下幅32～52cm、深さ68.4～75.1cmである。

【溝5】トレンチ2で一部を検出し土坑3・溝2より古い。規模は上幅65～86cm、下幅44～60cm、深さ4.5～11.6cmである。

③出土遺物

出土遺物の詳細は第10表のとおりである。

第8表 長宮遺跡第32地点土坑一覧表 (単位cm)

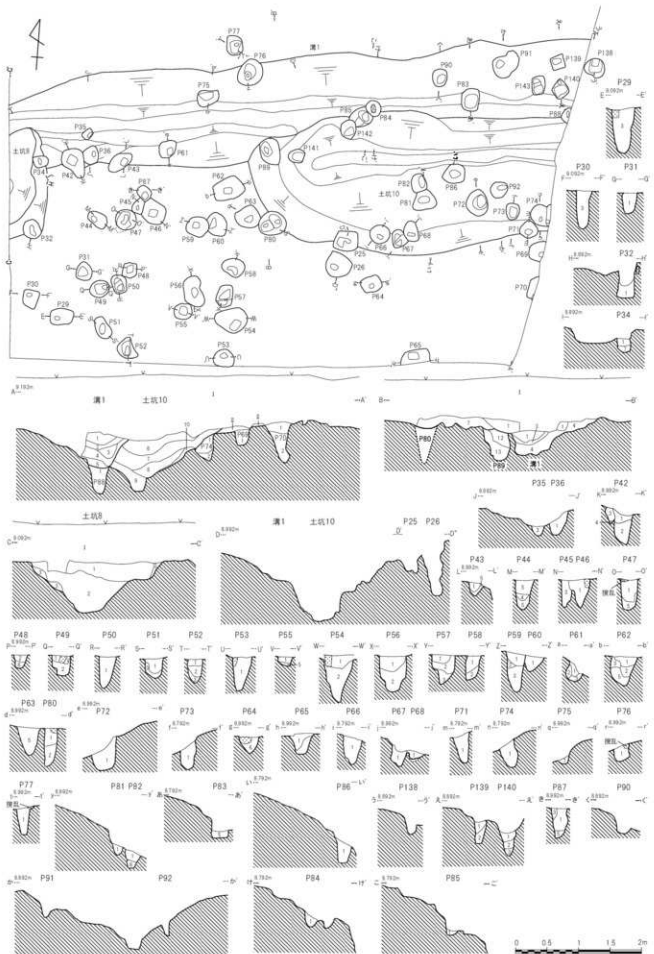
No	平面形態	確認面積	底径	深さ	備考
1	欠番				
2	不明	124×(60)	94×43	42.9	第22回
3	方形	122×81	90×61	48.8	第20回
4	不明	(99)×(27)	(67)×(19)	30.0	第20回
5	不明	(77)×57	(66)×32	38.8	第20回
6	不明	211×83	43×37	17.9	第20回
7	欠番				
8	不明	167×(49)	140×(5)	52.9	第19回
9	不明	(267)×(132)	—	77.0	第22回
10	不明	(485)×228	(385)×20	17.9	第19回
11	不明	(180)×85	(128)×39	42.0	第22回
12	方形	106×43	92×34	18.0	第20回
13	不明	97×(54)	89×(46)	77.5	第20回
14	隅丸方形	134×(87)	119×(80)	25.0	第20回
15	楕円形	174×96	120×54	46.3	第20回
16	不明	(204)×(118)	(125)×(49)	53.0	第20回
17	不明	(97)×70	(88)×49	65.8	第20回
18	方形	100×59	83×50	26.0	第20回
19	不明	86×(33)	75×24	29.8	第20回
20	方形	136×49	116×36	9.9	第20回
21	方形	142×36	96×36	10.6	第20回

第9表 長宮遺跡第32地点ピット一覧表

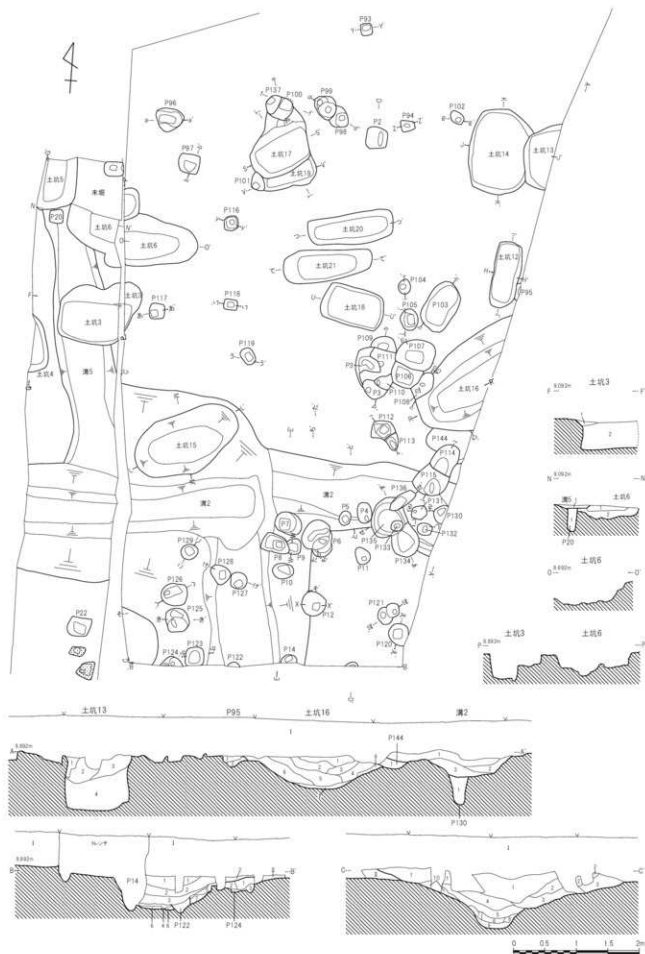
(単位:cm)

No	平面形状	確認面径	底径	深さ	備考
1	7坑17に變更				
2	方形	34×34	23×7	25.6	第20図
3	方形	75×(23)	8×8 8×6	55.0 38.4	第20図
4	方形	33×22	10×6	41.6	第20図
5	方形	22×18	10×10	14.6	第20図
6	方形	58×48	10×8	54.3	第20図
7	方形	44×34	19×17	55.0	第20図
8	方形	45×27	9×9	33.9	第20図
9	方形	24×(19)	14×(13)	16.0	第20図
10	楕円形	34×24	19×14	33.8	第20図
11	方形	26×23	7×6	38.2	第20図
12	方形	38×38	13×11	37.2	第20図
13	不明	32×(26)	(10)×9	52.0	第22図
14	不明	25×(13)	12×7	37.3	第22図
15	不明	20×(15)	13×(7)	27.0	第22図
16	不明	25×25	13×12	56.0	第22図
17	方形	34×32	13×9	50.3	第22図
18	方形	35×27	11×8	46.6	第22図
19	方形	30×26	8×4	30.4	第22図
20	不明	22×20	-	39.8	第20図
21	不明	43×(21)	17×(8)	49.2	第22図
22	方形	36×28	19×14	47.1	第22図
23	円形	26×(30)	13×8	29.0	第22図
24	円形	19×(23)	13×6	20.7	第22図
25	方形	38×31	20×15	37.2	第19図
26	方形	38×37	12×8	82.6	第19図
27	円形	37×30	12×5	29.0	第22図
28	円形	31×27	13×11	16.5	第22図
29	方形	28×25	8×5	100.6	第19図
30	方形	28×24	7×6	63.4	第19図
31	方形	27×26	18×15	31.4	第19図
32	円形	30×27	18×7	57.4	第19図
33		欠番			
34	方形	22×18	10×5	35.2	第19図
35	方形	19×14	11×4	25.0	第19図
36	円形	29×26	10×6	53.5	第19図
37	方形	23×20	18×10	26.0	第22図
38	不明	29×23	23×19	39.6	第22図
39	不明	28×(20)	12×12	25.1	第22図
40		欠番			
41	円形	46×39	19×11	102.8	第22図
42	楕円形	51×36	15×14	65.1	第19図
43	楕円形	43×24	12×9	38.0	第19図
44	方形	33×20	11×7	50.4	第19図
45	不明	(25)×(18)	7×4	46.4	第19図
46	方形	36×35	12×11	49.8	第19図
47	円形	33×31	9×6	55.4	第19図
48	方形	23×22	12×10	21.0	第19図
49	円形	32×26	15×6	55.8	第19図
50	方形	30×24	11×7	57.6	第19図
51	方形	36×23	16×9	37.4	第19図
52	方形	34×27	14×8	54.8	第19図
53	円形	34×27	10×10	58.0	第19図
54	楕円形	52×39	17×14	94.8	第19図
55	円形	29×26	13×13	15.7	第19図
56	方形	48×28	15×9	60.4	第19図
57	方形	32×26	17×14	54.4	第19図
58	方形	34×27	18×7	43.2	第19図
59	円形	35×32	10×9	63.7	第19図
60	円形	36×34	15×11	25.5	第19図
61	方形	26×25	11×9	38.8	第19図
62	方形	49×34	13×9	47.7	第19図
63	方形	37×34	13×10	47.0	第19図
64	方形	31×26	8×6	31.9	第19図
65	方形	48×20	17×11	29.3	第19図
66	円形	33×29	11×7	49.9	第19図
67	方形	27×23	10×8	41.4	第19図
68	楕円形	33×23	13×6	32.1	第19図
69	不明	34×(24)	8×7	33.6	第19図
70	不明	(40)×-	12×(3)	57.3	第19図
71	方形	28×26	10×9	54.5	第19図
72	円形	40×34	20×14	73.7	第19図
73	方形	26×19	16×10	52.2	第19図
74	円形	32×27	9×5	56.4	第19図

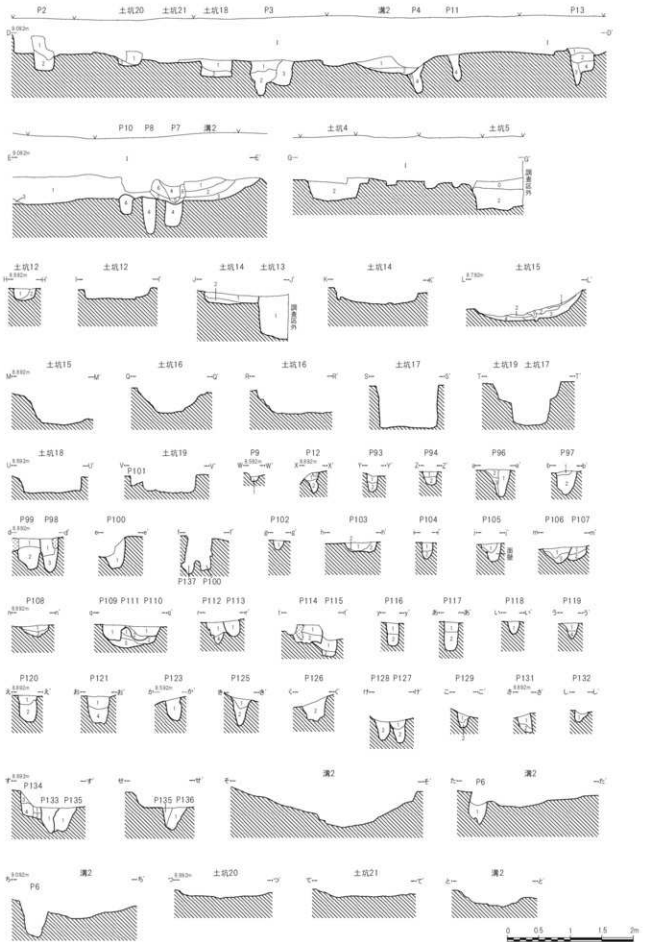
No	平面形状	確認面径	底径	深さ	備考
75	方形	34×26	23×13	23.2	第19図
76	円形	44×36	6×3	42.7	第19図
77	方形	30×25	7×5	44.8	第19図
78	方形	44×33	14×13	55.0	第22図
79	不明	25×(12)	10×8	25.8	第22図
80	円形	41×38	9×6 7×7	62.2 55.8	第19図
81	方形	37×29	19×11	43.2	第19図
82	方形	28×23	19×9	46.8	第19図
83	方形	36×28	22×20	45.8	第19図
84	不明	29×(27)	13×10	36.7	第19図
85	円形	26×22	13×8	23.3	第19図
86	方形	35×30	15×12	54.5	第19図
87	方形	25×19	11×8	48.4	第19図
88	不明	24×(12)	11×3	42.8	第19図
89	方形	41×30	13×5	59.2	第19図
90	方形	28×23	13×13	32.6	第19図
91	楕円形	45×35	13×11	38.1	第19図
92	円形	28×25	15×7	39.7	第19図
93	方形	19×18	12×8	33.3	第20図
94	方形	21×18	9×5	28.8	第20図
95	不明	(27)×(7)	(15)×(3)	9.0	第20図
96	方形	44×37	26×11	46.9	第20図
97	方形	33×30	20×15	44.4	第20図
98	方形	32×(26)	9×7	58.4	第20図
99	方形	38×33	9×8	50.7	第20図
100	方形	35×(22)	19×19	53.5	第20図
101	三角形	29×21	10×10	24.3	第20図
102	楕円形	24×17	9×7	18.2	第20図
103	方形	78×48	68×32	19.1	第20図
104	円形	21×19	11×9	31.2	第20図
105	方形	33×30	17×11	36.8	第20図
106	方形	50×35	28×22	24.9	第20図
107	方形	50×49	29×18	32.2	第20図
108	不整形	45×25	8×5	22.2	第20図
109	不明	40×(21)	18×12	27.6	第20図
110	三角形	29×(21)	9×5	31.8	第20図
111	不明	(40)×(40)	8×(7)	39.6	第20図
		(32)×(15)	-	30.2	
112	方形	(31)×27	13×11	36.0	第20図
113	不明	(24)×21	14×7	31.8	第20図
114	不明	(47)×20	(23)×21	28.7	第20図
115	不明	50×(43)	16×7	52.5	第20図
116	方形	24×22	8×9	41.2	第20図
117	方形	25×24	12×11	48.1	第20図
118	方形	22×17	12×8	25.2	第20図
119	方形	29×21	13×10	43.4	第20図
120	方形	34×(28)	15×15	41.7	第20図
121	方形	48×28	10×8 7×6	46.1 53.9	第20図
122	不明	18×(7)	-	59.0	第20図
123	方形	29×(27)	19×16	47.8	第20図
124	不明	35×(15)	7×5 4×(2)	15.4 9.4	第20図
125	方形	38×38	14×6 20×11	63.6 37.2	第20図
126	方形	42×35	8×5	38.6	第20図
127	方形	28×27	14×11	39.9	第20図
128	方形	32×28	14×11	40.1	第20図
129	方形	27×24	14×12	24.7	第20図
130	不明	30×(18)	14×9	53.6	第20図
131	方形	24×21	4×4	34.6	第20図
132	方形	24×20	9×8	22.9	第20図
133	円形	21×10	10×6	76.2	第20図
134	不明	43×(41)	33×25	42.9	第20図
135	円形	52×49	37×35	62.9	第20図
136	楕円形	47×19	27×14	27.4	第20図
137	方形	31×19	13×8	59.5	第20図
138	円形	32×28	12×11	31.0	第19図
139	方形	24×21	9×9	47.0	第19図
140	方形	24×24	12×12	54.0	第19図
141	方形	25×21	18×12	105.0	第19図
142	円形	29×24	17×11	52.6	第19図
143	方形	28×21	10×7 15×11	23.8 21.2	第19図
144	不明	70×(37)	-	26	第20図



第19図 長吉遺跡第32地点土坑①・ピット①・溝① (1/60)

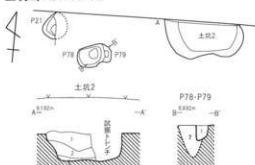


第20図 長宮遺跡第32地点土坑②・ピット②・溝② (1/60)



第21図 長宮遺跡第32地点土坑③・ピット③・溝③ (1/60)

土坑2、P21・78-79



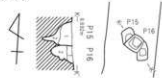
P13



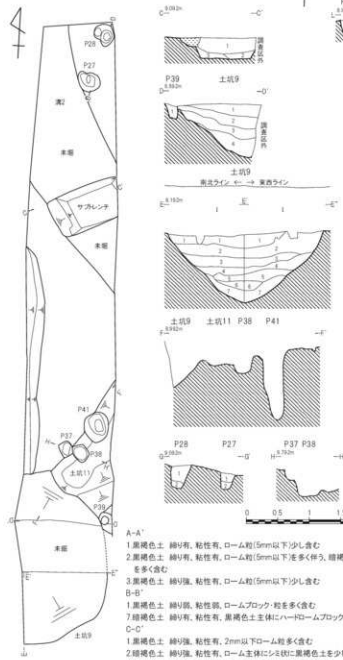
P14



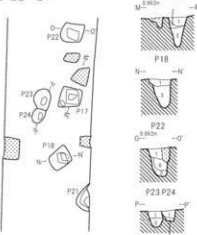
P15-16



溝2、土坑9-11、P27・28・37~39・41



P17-18-22~24



E-E'

- 1 黒褐色の耕作土、ローム粒・ブロック少し含む
- 2 黒褐色土、締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)・ロームブロック(2cm以下)少し含む
- 3 暗褐色土ベース、締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)多く、ロームブロック・黒色土ブロック(4cm以下)多く含む
- 4 暗褐色土ベース、締り強、粘性有、ロームブロック(3cm以下)、黒色土塊状に多く含む
- 5 黄褐色土、締り強、粘性有、ローム土主体でロームブロック(7cm以下)やや多く含む
- 6 黒褐色土、締り強、粘性有、ロームブロック(8cm以下)・ローム粒(5mm以下)やや多く、鉄土(5mm)わずかに含む
- 7 黒褐色土、締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)・ロームブロック(4cm以下)少し含む

ピット13

- 1 暗褐色土、締り有、粘性有、5mm以下ローム粒多く含む、別の掘り込みの跡がローム粒を多く含む
- 2 黒褐色土、締り有、粘性有、5mm以下ロームブロック・粒少し含む
- 3 暗褐色土、締り有、粘性有、3mm以下ローム粒少し含む

ピット14

- 1 暗褐色土ベース、締り有、粘性有、1cm以下ロームブロック主体

ピット15

- 1 黒褐色土・黒色土、締り有、粘性有、5mm以下ロームブロック・粒少し含む
- 2 暗褐色土、締り有、粘性有、3mm以下ローム粒多く含む

ピット16

- 1 黒褐色土、締り有、粘性有、5mm以下ロームブロック・粒多く含む
- 2 黒褐色土、締り有、粘性有、5mm以下ロームブロック・粒少し含む

ピット17~19

- 1 黒褐色土、粘性有、黒褐色土主体に3cm以下ロームを塊状に多く含む
- 2 暗褐色土、粘性有、ロームブロック
- 3 黒褐色土、粘性有、1層に3層間に、1層よりや全体の1/3に占める

ピット22~24

- 1 黒褐色土、締り有、粘性有、ローム粒(5mm以下)多く含む、特に1mm以下の細かいローム粒を多く含む
- 2 黒褐色土、締り有、粘性有、ロームブロック(1cm以下)・ローム粒(3mm以下)少し含む、1層より締りやや弱
- 3 暗褐色土、締り有、粘性有、黒褐色土主体にソファロームブロック含む
- 4 土質は2層に似るが締り強い
- 5 暗褐色土、締り有、粘性有、ローム土主体にローム粒多く含む
- 6 暗褐色土、締り有、粘性有、黒褐色土主体にローム粒多く含む

ピット27-28

- 1 黒褐色土、締り弱、粘性有、黒色土主体にロームブロック少し含む
- 2 暗褐色土、締り弱、粘性有、ロームブロック主体に黒褐色土少し含む

長宮遺跡第32地点土層説明①

第20面

1. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒少し含む。表土層
 2. 黒褐色土 締り有、粘性有、ソフトローム土、ローム粒(3mm以下)やや多く含む
 3. 地山、岩碎層
- A-A'
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(3mm以下)少し含む
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(2mm以下)わずかに含む
 3. 黒褐色土 締り弱、粘性有、ローム粒(2mm)少し含む
 4. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(5mm以下)やや多く含む
 5. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(5mm以下)少し、シト質の黒褐色土をブロック状に多く含む
 6. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(3mm以下)やや多く含む
 7. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(5mm以下)少し含む
 8. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(5mm以下)やや多く含む
 9. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)層より多く含む
 10. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(10cm以下)主体
- ビト8時
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(5mm以下)ソフトローム土多く含む
- ビト70
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(5mm以下)少し、下部に1mm以下ローム粒集中して含む
 2. 黒褐色土 締り有、粘性やや弱、ローム粒(3mm以下)やや多い
- ビト74
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、ロームブロック・粒(10cm以下)やや多く含む
 2. 黒褐色土 ロームベース 締り有、粘性やや弱、ロームブロック(20cm以下)主体
- ビト88
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、ロームブロック(1.50m以下)少し、ローム粒(3mm以下)少し
- B-B'
1. 黒色土 締りやや強、粘性有、2mm以下ローム粒少し含む
 2. 黒色土 締りやや強、粘性有、2mm以下ローム粒多く含む
 3. 黒色土 締りやや強、粘性有、20cm大ロームブロック少し、2mm以下ローム粒多く含む
 4. 黒色土 締りやや強、粘性有、2mm以下ローム粒やや多く含む、1層よりやや明るい
 12. 黒色土 締りやや強、粘性有、ロームブロック少し含む
 13. 黒色土 締りやや強、粘性有、ロームブロック多く含む
- C-C'
1. 黒色土 締り強、粘性有、2cm以下シト状黒色土シト状に少し含む、2mm以下シト状ローム粒少し含む
 2. 黒色土 締り強、粘性有、1層より異なり黒色土を含まない、3mm以下ローム粒少し含む
 3. 暗褐色土 締りやや強、粘性有、ローム主体に3cm以下シト状黒色土(2層)を少し含む

第21面

1. 表土 黒作土 黒褐色土 締り有、粘性有、ロームブロック・粒少し含む
 2. 盛土 黄褐色土 締り強、粘性有、ソフトローム主体にハードロームブロックが多く混ざり、ややホコリが充ちている
- A-A'
- 土坑13
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(3mm以下)ローム土を多く含む、色調明るい
 2. 暗褐色土 締り有、粘性有、黒褐色土主体にロームブロック・粒(10cm以下)を含む
 3. 暗褐色土 締り有、粘性有、ロームブロック(1.50m以下)・ローム粒(3mm以下)を多く含む
 4. 黒褐色土 締り有、粘性有、ロームブロック(20cm以下)をやや多く含む
- 土坑16
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(2mm以下)少し含む
 2. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(3mm以下)やや多く、ロームブロック(10cm)少し含む
 3. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(5mm以下)を多くブロック状に含む
 4. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(5mm以下)やや多く含む、色調3・5層より黒色味強い
 5. 暗褐色土 締り有、粘性有、ロームブロック・粒(10cm以下)を多く含む
 6. 暗褐色土 締り有、粘性有、ロームブロック(2m以下)・粒(5mm以下)を多く、黒色土ブロック(1~6cm)やや多く含む
 7. 暗褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(3mm以下)少し含む
 8. 明るい黒褐色土 締り有、粘性有、ロームブロック・粒(5mm以下)多く含む、色調明るい
- ビト95
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)・ソフトロームブロック(20cm以下)少し含む
 2. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(5mm以下)やや多く含む
- ビト130
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、ハードロームブロック・粒(10cm以下)やや多く含む
- ビト144
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(3mm以下)少し含む

第22面

1. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(5mm以下)主体
 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)多く含む
 3. 暗褐色土 締り有、粘性有、ロームブロック(5~20cm)多く含む
- 土坑14
1. 暗褐色土 締り強、粘性有、黒色土ブロック(5~40cm)、ローム粒(5mm以下)多く含む
 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)やや多く、ロームブロック(1~20cm)少し含む
- 土坑15
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒・塊土(10m以下)・ローム粒(5mm以下)、黒土の黒色土をやや多く含む、長さ1~3cm炭化物少し(サンゴ採取)
 3. 暗褐色土 締り有、粘性有、ソフトローム主体、ハードロームブロック(5~15cm)やや多く含む、塊土(2mm以下)少し含む
 4. 暗褐色土 締り有、粘性有、3層より色調暗いが顕著な層
- 溝2
1. 黒色土 締り有、粘性有、1mm大ローム粒やや多く含む
 2. 黒色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒多く含む
 3. 黒色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒多く、30cm大シト状ローム多く含む
 4. 暗褐色土 締り弱、粘性有、20mm以下シト状ローム多く、2mm以下ローム粒多く含む
 5. 暗褐色土 締り弱、粘性有、2層に同じ
 6. 暗褐色土 締り弱、粘性有、1層に同じ、北側はやや締り強く、南側10cm大ローム少し含む
- 土坑18、ビト2、溝3
1. 暗褐色土 締り弱、粘性有、黒褐色土主体に10cm以下ローム粒多量に含む
 2. 暗褐色土 締り弱、粘性有、黒褐色土主体に5mm以下ローム粒少し含む
- ビト3
1. 黒色土 締り有、粘性有、20cm以下ロームブロック多量、2mm以下ローム粒多く含む
 2. 黒色土 締り有、粘性有、ロームブロック主体に閉じ黒褐色土多く含む
 3. 黒褐色土 締り有、粘性有、1層主体に20cm以下ロームブロック多く含む(1層より少ない)
- 2mm以下ローム粒は暗褐色
- ビト47~11、79~32、34~36
1. 黒色土 締り強、粘性有、10cm大ローム少し、5mm以下ローム粒極少含む
 2. 黒色土 締り強、粘性有、20cm以下ロームブロック多く含む
 3. 黒色土 締り強、粘性有、10cm以下ローム少し含む、1層に暗褐色
 4. 黒褐色土 締り弱、粘性有、10cm以下ロームブロックやや多く含む
 5. 暗褐色土 締り弱、粘性有、5mm以下ローム粒多く含む
 6. 黒色土 締り強、粘性有、20mm以下ローム粒少し含む
 7. 暗褐色土 締り弱、粘性有、ローム主体に2mm以下黒褐色土粒少し含む
- ビト5
1. 暗褐色土 締り有、粘性有、5mm以下ローム粒やや多い
- ビト6
1. 暗褐色土 締り有、粘性有、10cm以下ロームブロック・粒少し
- ビト9
1. 暗褐色土 締り有、粘性有、1.50m大ロームブロックやや多(上部に黒褐色土)

6. 暗褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土主体にローム粒(5mm以下)多く含む
 7. 黄褐色土 締り強、粘性有、暗褐色土主体にロームブロック(20cm以下)含む
- ビト124
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(3mm以下)やや多く含む
 2. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(5mm以下)多く含む
 3. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒・ロームブロック(10cm以下)多く含む
- 0-C
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、ソフトロームブロック(20cm以下)・粒(3mm以下)少し含む
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)やや多く含む
 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック・粒(10cm以下)多く、炭化物(5mm)わずかに含む
 4. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)やや多く含む
 5. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)多く含む、4層より色調明るい
 6. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)主体
 7. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム土主体、ロームブロック(10cm以下)やや多く含む
 8. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック・粒(10cm以下)がやや多く含む
 9. 黄褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック・粒(10cm以下)が圧延を要け九よりに硬く堆積、5mm厚で黒色土の薄層を挟む
 10. 黄褐色土 締り有、粘性有、ソフトローム主体、シト状に暗褐色土が混ざり
- 土坑3~6
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、50cm大ロームブロック少し、20cm以下ロームブロックやや多く含む
 2. 黒褐色土 締り弱、粘性有、3mm以下ローム粒多量に含む
 3. 暗褐色土 締り弱、粘性有、20cm以下ロームブロック多量に含む、シト状に10cm以下黒褐色土少し含む
 4. 暗褐色土 締り弱、粘性有、ロームベースにシト状に黒褐色土粒少し含む(ほぼ市販ローム土のみの層)
- 溝5

第23面

1. 黒褐色土 締り弱、粘性有、2mm以下ソフトローム粒少し含む
- 第23面
- 土坑12
1. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)主体
 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)多く含む
- 土坑13
1. 暗褐色土 締り有、粘性有、ロームブロック(5~20cm)多く含む
- 土坑14
1. 暗褐色土 締り強、粘性有、黒色土ブロック(5~40cm)、ローム粒(5mm以下)多く含む
 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)やや多く、ロームブロック(1~20cm)少し含む
- 土坑15
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒・塊土(10m以下)・ローム粒(5mm以下)、黒土の黒色土をやや多く含む、長さ1~3cm炭化物少し(サンゴ採取)
 3. 暗褐色土 締り有、粘性有、ソフトローム主体、ハードロームブロック(5~15cm)やや多く含む、塊土(2mm以下)少し含む
 4. 暗褐色土 締り有、粘性有、3層より色調暗いが顕著な層
- 溝2
1. 黒色土 締り有、粘性有、1mm大ローム粒やや多く含む
 2. 黒色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒多く含む
 3. 黒色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒多く、30cm大シト状ローム多く含む
 4. 暗褐色土 締り弱、粘性有、20mm以下シト状ローム多く、2mm以下ローム粒多く含む
 5. 暗褐色土 締り弱、粘性有、2層に同じ
 6. 暗褐色土 締り弱、粘性有、1層に同じ、北側はやや締り強く、南側10cm大ローム少し含む
- 土坑18、ビト2、溝3
1. 暗褐色土 締り弱、粘性有、黒褐色土主体に10cm以下ローム粒多量に含む
 2. 暗褐色土 締り弱、粘性有、黒褐色土主体に5mm以下ローム粒少し含む
- ビト3
1. 黒色土 締り有、粘性有、20cm以下ロームブロック多量、2mm以下ローム粒多く含む
 2. 黒色土 締り有、粘性有、ロームブロック主体に閉じ黒褐色土多く含む
 3. 黒褐色土 締り有、粘性有、1層主体に20cm以下ロームブロック多く含む(1層より少ない)
- 2mm以下ローム粒は暗褐色
- ビト47~11、79~32、34~36
1. 黒色土 締り強、粘性有、10cm大ローム少し、5mm以下ローム粒極少含む
 2. 黒色土 締り強、粘性有、20cm以下ロームブロック多く含む
 3. 黒色土 締り強、粘性有、10cm以下ローム少し含む、1層に暗褐色
 4. 黒褐色土 締り弱、粘性有、10cm以下ロームブロックやや多く含む
 5. 暗褐色土 締り弱、粘性有、5mm以下ローム粒多く含む
 6. 黒色土 締り強、粘性有、20mm以下ローム粒少し含む
 7. 暗褐色土 締り弱、粘性有、ローム主体に2mm以下黒褐色土粒少し含む
- ビト5
1. 暗褐色土 締り有、粘性有、5mm以下ローム粒やや多い
- ビト6
1. 暗褐色土 締り有、粘性有、10cm以下ロームブロック・粒少し
- ビト9
1. 暗褐色土 締り有、粘性有、1.50m大ロームブロックやや多(上部に黒褐色土)

長宮遺跡第32地点土層説明②

ピット12

1. 黒褐色土 締り強。粘性有。3mm以下ローム粒多く含む
2. 黒褐色土 締り強。粘性有。15cm大ロームブロックやや多く含む

ピット13

1. 黒褐色土 締り強。粘性有。1cm大ローム少し。2mm以下ローム粒少し含む
2. 黒褐色土 締り強。粘性有。ロームブロック主体に黒褐色土を厚めに含む
3. 黒褐色土 締り強。粘性有。5mm以下ローム粒多量に含む。1cm大ローム多く含む
4. 黒褐色土 締り強。粘性有。ほぼ3層に同じ。やや3層の方が黒褐色土多く含む

ピット20

1. 黒褐色土 粘性有。黒褐色土主体に3cm以下ロームを混入に多く含む
2. 黒褐色土 粘性有。ロームブロック
3. 黒褐色土 粘性有。1層にほぼ同じ。1層よりやや全体的に粗粒に含む
ピット42～48・50・51・53・55・61～68・74～77・81～83・86

1. 黒褐色土 締り強。粘性有。ローム粒(5mm以下)多く。特に1mm以下の細かいローム粒多く含む

2. 黒褐色土 締り強。粘性有。ロームブロック(1cm以下)・粒(3mm以下)少し含む。

1層は中硬やや弱

3. 黒褐色土 締り強。粘性有。黒褐色土主体にソフトロームブロック含む

4. 土質は7層に似るが締り強い

5. 黒褐色土 締り強。粘性有。ローム土主体にローム粒多く含む

6. 黒褐色土 締り強。粘性有。黒褐色土主体にローム粒多く含む

7. 黒褐色土 締り強。粘性有。黒褐色土主体にハードロームブロック・粒も多く含む

ピット49・60

1. 黒褐色土 締り強。粘性有。シベ性にソフトローム多く含む

2. 黒褐色土 締り強。粘性有。ローム粒やや多く含む

ピット52・54・56～59

1. 黒褐色土 締り強。粘性有。灰色味あり。5～10mmロームブロック少し含む

2. 黒褐色土 締り強。粘性有。大型ロームブロック(3～5cm)少し含む

3. 黒褐色土 締り強。粘性有。ローム粒少し含む

ピット67

1. ピット68より色調暗い(やや黒色土多い)

ピット71～73

1. 黒褐色土 締り強。粘性有。ロームブロック・粒多く含む

ピット96・101・106・108・109・114

1. 黒褐色土 締り強。粘性有。ハードロームブロック・粒(1cm以下)やや多く含む

2. 黒褐色土 締り強。粘性有。ローム粒(5mm以下)少し含む。色調明るめ

3. 黒褐色土主体 締り強。粘性有。黒褐色土主体にロームブロック(1.5cm以下)含む

ピット93・94・104・115・123

1. 黒褐色土 締り強。粘性有。ソフトロームブロック(ブロック状にローム粒)多く含む

2. 黒褐色土 締り強。粘性有。ローム粒(5mm以下)少し含む

ピット99・102・103・105・110・112・119～121・131・136

1. 黒褐色土 締り強。粘性有。黒褐色土主体に細かいローム・ブロック(1cm以下)多く含む。黒色土も含む

2. 黒褐色土 締り強。粘性有。中硬やや弱。ソフトローム土・ロームブロック(1cm以下)多く含む

3. 黒褐色土 締り強。粘性有。ロームブロック・粒(1.5cm以下)やや多く含む

4. 黒褐色土 締り強。粘性有。ローム粒少し含む

ピット97・113

1. 黒褐色土 締り強。粘性有。ローム粒(1mm以下)少し。塵土(3mm以下)わずかに含む

2. 黒褐色土 締り強。粘性有。ローム粒(1mm以下)少し。塵土(4mm以下)わずかに含む

ピット98・107・111

1. 黒褐色土主体 締り強。粘性有。黒褐色土主体にロームブロック多く含む

2. 黒褐色土 締り強。粘性有。ロームブロック・粒(1cm以下)やや多く含む

3. 黒褐色土 締り強。粘性有。中硬やや弱。ソフトローム土・ロームブロック(1cm以下)多く含む

ピット116～118・132

1. 黒褐色土 締り強。粘性有。ソフトローム土・ロームブロック含む

2. 黒褐色土 締り強。粘性有。中硬やや弱。ローム粒多く含む

ピット125～129

1. 黒褐色土 締り強。粘性有。ロームブロック・粒(1cm以下)少し含む

2. 黒褐色土 締り強。粘性有。中硬やや弱。ロームブロック・粒(1cm以下)多く含む

ピット133

1. 黒褐色土 締り強。粘性有。ロームブロック(1cm以下)少し。ローム粒(5mm以下)やや多く含む

ピット134

1. 黒褐色土 締り強。粘性有。ローム粒(2mm以下)少し含む

2. 黒褐色土 締り強。粘性有。ロームブロック(2cm以下)やや多く含む

3. 黒褐色土 締り強。粘性有。ローム粒(5mm以下)やや多く含む

4. 黒褐色土 締り強。粘性有。ロームブロック(2cm以下)多く含む

ピット135

1. 黒褐色土主体 締り強。粘性有。中硬やや弱。ロームブロック(2cm以下)含む

ピット139・140

1. 黒褐色土 締り強。粘性有。5mm以下ローム粒やや多く含む

2. 黒褐色土 締り強。粘性有。3mm以下ローム粒少し含む

3. 黒褐色土 締り強。粘性有。5～50mmロームブロック含む

土坑1



土坑2



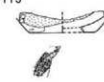
土坑9



P29



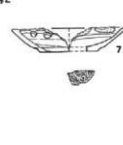
P115



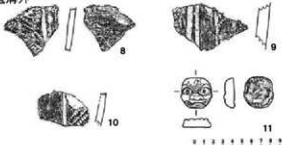
P124



溝2



遺溝外



第23図 長宮遺跡第32地点出土遺物(1/4)

第10表 長宮遺跡第32地点出土遺物観察表

() 推定値 単位:cm・g

No.	出土遺物名	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	器高・厚さ	技法・文様・その他	発見産地	推定年代	残存・備考
1	土坑1	土器/カワケ	—	—	2.5	轆轤成形/胎土軟質。にぶい黄色	在地土	15C末～16C後半	口縁部破片
2	土坑2	縄文土器	—	—	1.7	轆轤成形/胎土軟質。にぶい黄色	—	縄文時代中期	—
3	土坑9	土器/大甕	—	—	—	横造り成形/胎土にぶい赤褐色	常滑系	中世	胴部破片
4	P29	縄文土器	—	—	0.96	地文無彫り/縄文+幅広磨消し	—	縄文時代中期	—
5	P115	土器/カワケ	(6.8)	—	—	轆轤成形/胎土硬質。黒褐色。にぶい黄褐色	在地土	14C前半～15C初葉	底部破片
6	P124	土器/カワケ	—	—	6.9	轆轤成形/底部に轆轤石回転系切刃/胎土色にぶい黄褐色	在地土	14C前半～15C初葉	底部破片 表面磨消し
7	溝	陶器/皿	(11.9)	(6.1)	2.5	轆轤成形/胎土軟質。黒褐色。底裏に轆轤石回転系切刃	瀬戸・美濃系	14C後半～15C末	底裏に轆轤石
8	遺溝外	縄文土器	—	—	0.77	地文無彫り/縄文+幅広磨消し	—	縄文時代中期	—
9	遺溝外	縄文土器	—	—	1.26	地文無彫り/縄文+波線+幅広磨消し	—	縄文時代中期	—
10	遺溝外	縄文土器	—	—	0.86	地文無彫り/縄文+波線+幅広磨消し	—	縄文時代中期	—
11	遺溝外	土製品/泥面子/茶子皿	3.1	3.1	1.1	型抜き成形/モチーフ:亀/裏面下端に針穴(奥行13mm)/重量9.36g	江戸近郊	1790～1890年代	定形「泥面子」

第5章 松山遺跡第49地点の調査

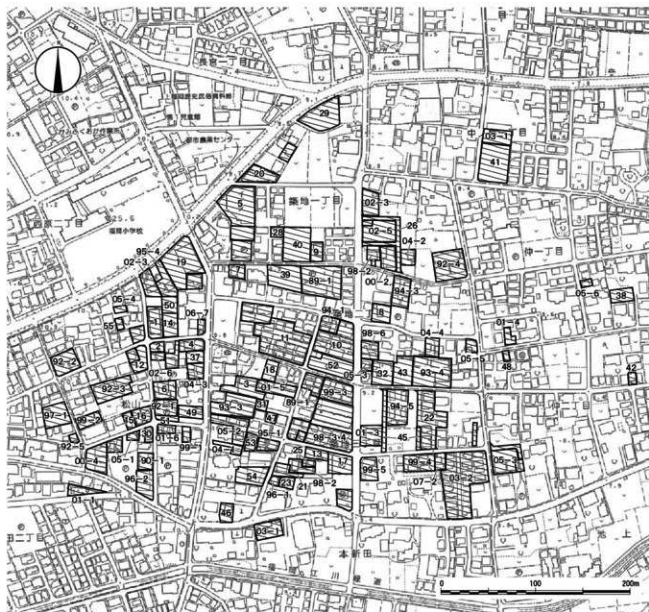
I 遺跡の立地と環境

松山遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の左岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地している。東側は荒川低地の沖積地と接し、標高9～10m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北500m、東西600m以上である。宅地開発されるが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、すぐ北側に縄文時代早期～後期、飛鳥時代および中・近世にわたる長宮遺跡、福岡江川を挟んだ対岸には福岡新田遺跡、同じく対岸の250m南東側には、縄文時代前期集落の霧森遺跡がある。また、西方約350mの比高差9mを持ってそびえる台地の南

東崖面には富士見台横穴墓群が望まれる。

1978年の宅地造成に伴う緊急調査で奈良時代の住居跡を検出したのをはじめ、宅地造成などにより約100ヶ所で調査が行なわれている。主たる時代と遺構は、長宮遺跡と接した北寄りに飛鳥時代の住居跡、遺跡中央の東西240m、南北210m程度の範囲に奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡・井戸跡、中・近世以降の溝・井戸跡などである。特に溝・井戸等の中・近世の遺構は東側の低地へも広がりを見せており、遺跡範囲の変更増補を行なった。



第24図 松山遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

II 本調査に至る経過と調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2009年9月25日付けで「埋藏文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の範囲内に位置するため、申請者と協議の結果、遺構等の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年10月19日から22日まで行なった。幅約2mのトレンチ4本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行ない、住居跡、土坑、溝等を確認した。遺跡確認面までの深さは約40cmで、遺跡への影響が避けられないため申請者と再度協議の結果、原因者負担による本調査を実施した。本調査は2009年10月27日から11月18日まで行ない、8世紀後半住居跡1軒、井戸1基、溝2本等を検出した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

III 遺構と遺物

① H36号住居跡

【位置・形状・規模】 調査区の中央部に位置する。

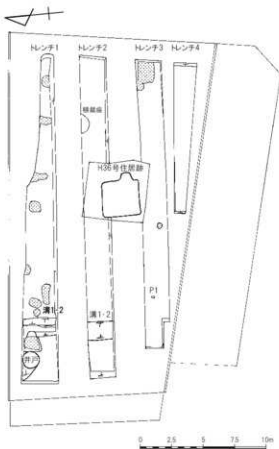
主軸方位はN-92°-Eのほぼ真東である。平面形は正方形で、規模は主軸が東西2.8m、南北2.9mである。深さは確認面から40~45cmである。

【竈】 東壁のやや南寄りに位置し、暗灰褐色の粘土で構築される。天井部は崩落し袖の一部が残存し内部は良く焼け焼土面が残る。焚口から煙道端までの長軸105cm、袖部の最大幅100cmである。竈内部は幅73cm、焚口は幅50cm奥行き62cmで床面からの深さ12.5cm。

【鍛冶炉・土坑1・ピット1】 鍛冶炉は住居内のほぼ中央部に位置する。炉の東側にピット1、西側に土坑1が位置し、鍛冶炉に係属する施設と考えられる。

鍛冶炉の火床内は、十字状に溝状の窪みがあり南側にのびる溝からは羽口が出土する。羽口装着部分周辺(炉南側半分)の炉壁は、灰褐色の粘土で構築され残存状況も良好である。炉の南側部分には羽口が多く、炉内北側から東側には崩れた炉壁が多く出土する。また炉の東側には炉内からかき出されたと思われる炭化物が多く出土し、土坑1周辺と特にその南側には鍛造剥片が多く出土する。火床の規模は長軸(南北)30cm×短軸(東西)30cm、床面からの深さは27cmである。掘り方を含めた規模は南北132cm、東西76cmの不整形を呈する。羽口の装着跡とみられる溝は鍛冶炉の南側に位置し、幅6~8cmである。

土坑1の平面形は楕円形で、規模は南北57cm×東西74cm深さは床面から27cmである。



第25図 松山遺跡第49地点遺構配置図 (1/300)

ピット1の平面形は不整形で、規模は南北47cm×東西40cm深さは床面から12cmである。

【貼り床・周溝】 周溝は検出部の住居跡全体に巡っている。上幅10~23cm、下幅4~10cm、深さ9.3~21cmである。床面は中央部が地山ローム面で、ドーナツ状に四隅と周溝部分に貼床がみられる。

【遺物出土状況・時期】 鍛冶炉内とその周辺、土坑周辺、南東隅の床面上に遺物の集中がみられる。出土遺物については第11表のとおりである。8世紀後半。

② 井戸

調査区の北西端に位置する。平面形態は円形で、規模は確認面径約1.4m、底径84~98cm、深さは地表面から約1.234mである。

③ 井戸・遺構外出土遺物

1は須恵器底部で回転系切りと寛削りて海綿骨針を含む。2は無節縄文、3は2と胎土が同じだが施文不明。4は細い半截竹管の押し引文、5は半截竹管の沈線と刺突による隆起を施す。6は土師器台付臺の胴から脚部の接合部で撫でを施す。1・6は奈良時代、2・3は縄文時代早期から前期か、4・5は縄文時代前期末とみられる。

第11表 松山遺跡第49地点H36号住居跡出土遺物観察表

()推定値 単位:cm・g

掲載番号	出土状況	種別・器種	口径・ 口径・ 口径	底径・ 短径	器高・ 厚さ	重量	技法/文様/その他	墓定 生産地	推定年代 /時期	残存/備考
1	住居覆土	須恵器/環	(12.6)	7.0	3.7	—	轆轤成形/底部回転糸切り+周縁部削り、海綿骨針含む、灰色/注記№16・51	南比企	8c後半	約1/6残存
2	住居覆土	須恵器/環	(13.0)	—	—	—	轆轤成形/底部回転糸切り+周縁部削り、灰色/注記№15、D区、H3	—	—	口縁一部
3	住居覆土	須恵器/環	(12.9)	(8.0)	4.0	—	轆轤成形/底部回転糸切り+周縁部削り、海綿骨針含む、灰色/注記№5	南比企	8c後半	約1/6残存
4	住居覆土	須恵器/環	13.5	—	—	—	轆轤成形/海綿骨針含む、灰オリーブ色/注記№54・82	南比企	8c後半	底部欠損
5	住居床面	須恵器/ 高台坪	(14.6)	10.2	3.1	—	轆轤成形/底部に渦巻状意匠、内面厚縁転用痕あり、灰色/注記№60	南比企	8c後半	約1/3残存
6	住居床面	須恵器/蓋	17.6	2.8	3.9	—	轆轤成形/外面撫で+彫削り/最大径17.8cm、つみみ:遺彩で上面凹む・径2.8cm/海綿骨針含む、灰色・オリーブ灰色/注記№61	南比企	8c後半	一部欠損
7	住居覆土	須恵器/蓋	—	2.3	—	—	轆轤成形/外面撫で+寛削り/つみみ:遺彩で上面凹む・径2.3cm/海綿骨針含む、灰色/注記№2・39	南比企	8c後半	天井部・ つみみ残存
8	住居覆土	須恵器/甕	—	—	—	—	口縁内面自然釉付着、胎土赤灰色・外面オリーブ黒色/注記№1	南比企	8c後半	口縁一部 1/3残存
9	甕内・ 住居覆土	土師器/甕	(22)	—	—	—	粘土様土、口縁部横撫で、胴部上部は横方向・下部は斜め方向削り、褐色/注記№12・16・17・18、No.40、D区	8c後半	1/3残存	口縁一部 1/3残存
10	甕内	土師器/甕	(17.6)	—	—	—	粘土様土、口縁部横撫で、胴部上部は横方向・下部は斜め方向削り、褐色/注記№3・5・8・10・11・18、撫・括2・3	8c後半	1/4残存	口縁一部 1/4残存
11	住居床面	土師器/甕	(17.4)	—	—	—	粘土様土、口縁部横撫で、胴部上部は横方向削り、褐色/注記№35、一括2	8c後半	1/3残存	口縁部片
12	住居床面	土師器/甕	—	—	—	—	粘土様土、口縁部横撫で、胴部上部は横方向・下部は斜め方向削り、褐色/注記№27・45・7	8c後半	1/3残存	口縁部片
13	住居覆土	如椀	8.1	6.7	3.6	94	胎土はスチと称せ、吸灰。輪積み。内面は濃緑色で一部は紫紅色に滑化/注記№9№3	8c	—	破片
14	住居床面	羽口 鍛冶	16.4	8.4	2.6	710	小口径の羽口。胎土には僅かに繊維が入る。通風孔部は内径2.6~3.0cm、内面には心棒を抜き取ったような痕跡あり→縦方向の穿れた痕跡がある。外面は幅1~1.5cmのへう削りあり。先端部は溶け、薄くなる。濃緑色のガラス質に発泡。還元層と酸化層の境界から想定できる傾斜着角は30度/注記№6・8、№71・72・82、鍛冶が一括	8c	—	先端、基部 一部欠
15	住居床面	羽口 鍛冶	7.6	7.6	4.3	310	桃形萍に付着した小口径の羽口破片。先端部は溶け、濃緑色のガラス質に発泡。桃形萍は底面と上面が残り、破面は143。破面はキラキラする/注記№81	8c	—	破片/磁着
16	住居床面	羽口 鍛冶	5.9	3.5	2.4	74	小口径の羽口。胎土には僅かに繊維が入る。通風孔部は内径2.4cm。先端部は溶け、薄くなる。濃緑色のガラス質に発泡/注記№68	8c	—	先端破片
17	住居床面・ 住居覆土	羽口 鍛冶	12.6	8.6	2.5	722	小口径の羽口。胎土には僅かに繊維が入る。通風孔部は内径2.5~3.7cm、基部はフラット状に広がる。内面には心棒を抜き取ったような痕跡あり→縦方向の穿れた痕跡がある。外面は幅1cm程度の縁。先端部は溶け、薄くなる。濃緑色のガラス質に発泡。還元層と酸化層の境界から想定できる傾斜着角は25度/注記№10・58・65・66・75、BCベルト	8c	—	先端一部欠
18	住居床面	桃形鍛冶萍	18.3	9.0	4.0	668	長筒円形の桃形鍛冶萍。破損はほとんどない。上面は平坦でわずかに木炭(5mm)、鍛造剥片(5mm)が付着する。下面は左側に灰色の鍛冶が埋粘土が付着。中央は木炭(2~3mm)や鍛造剥片(2mm)が多量に付着する/注記№78	8c	—	定形/磁着
19	住居覆土	桃形鍛冶萍	12.3	6.8	3.8	206	不整形の桃形鍛冶萍。中央付近で破断する。上面は平坦で茶褐色の錆に覆われ、わずかに木炭(5mm)が付着する。下面は灰色から褐色の鍛冶が埋粘土が全面に付着する/注記№76	8c	—	1/2以下残存
20	住居床面	桃形鍛冶萍	10.7	8.2	3.4	446	長筒円形の桃形鍛冶萍。中央付近で破断する。上面は平坦で茶褐色の錆に覆われる。下面は灰色の鍛冶が埋粘土が付着する一部に覆われる/注記№66	8c	—	約1/2残存/ 磁着
21	住居床面	流動萍	5.4	4.0	2.2	60	流動化した萍で2個片が破面となる。破面はキラキラする。上面は残り、下面に灰色から褐色の鍛冶が埋粘土が付着する/注記№74	8c	—	破片
22	住居覆土	桃形鍛冶萍	7.4	5.0	2.1	96	不整形の桃形鍛冶萍。中央付近で破断する。上面は平坦で茶褐色の錆に覆われる。下面は茶褐色の錆に覆われる/注記№77	8c	—	破片/磁着
23	住居床面	桃形鍛冶萍	10.5	9.1	3.5	309	長筒円形の桃形鍛冶萍。中央付近で破断する。上面は平坦で茶褐色の錆に覆われる。下面は酸化土砂や食物繊維痕に覆われる。破面は一部キラキラする/注記№63、77	8c	—	約3/4残存/ 磁着

④ 鍛冶関連遺物の調査と分類

(1) 遺物の回収にあたっては、住居跡に1mのメッシュを組み、“あ”~“た”までのグリッド番号を振り、覆土を全量回収したが、鍛冶関連の遺構と判断する以前の覆土上層の土については回収していない。但し、鍛冶炉・甕・周溝(東西南北)・土坑1・ピット1は別個に覆土を回収した。その他、鍛造剥片等の集中箇所は集中範囲の土毎回収し、羽口等の遺物は別個に出土地点を記録し、取り上げた。

(2) 回収した土はタライで水洗いしたち、フルイ

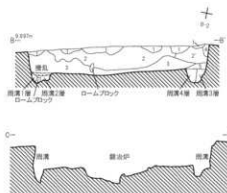
(4mm、2mm、1.5mm、0.8mm)、肉眼観察、磁石、金属探知機で分類した。

(3) 分類項目は別表のとおり15項目で、分類は穴澤義功氏にお願いした。また、水洗から一覧表作成まで株式会社東京航業研究所に委託した。

(4) グリッド別、遺構別の出土量を掲載するにあたり、集中箇所の遺物はグリッドに振り分けた。また、羽口や桃形鍛冶萍等のドットで取り上げた遺物の重量は含めていない。

(高崎)

H36号住居跡



B-B'

- 1 暗褐色土 粘性有、締り強、2mm以下ローム粒少し含む
- 2 暗褐色土 粘性有、締り強、1層より5mm以下ローム粒多く含む、全体に平ら
- 3 褐色粘土質 締りやや強、2層よりローム粒少ない
- 4 黒褐色土 粘性有、締り強、5mm以下ロームブロック少し、2mm以下ローム粒、黒褐色粒少し含む
- 5 黒褐色土 粘性有、締り強、1cm以下ロームブロック少し、2mm以下ローム粒、黄土粒、黒褐色粒やや多く含む
- 6 黄色粘質土 締り強、黄土ブロック2~30mm大のもの含む

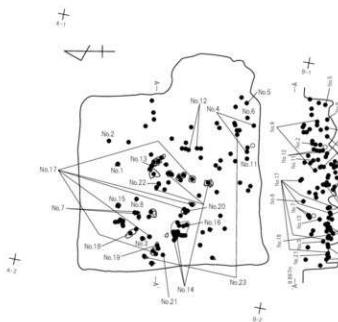
D-D'

- 1 黒褐色土 粘性有、締り強、3mm以下焼土・炭化物多量に含む、2mm以下ローム粒多く含む
- 2 暗褐色土 粘性有、締り強、1cm以下ロームブロック多く、シ3状黒褐色土層少し含む

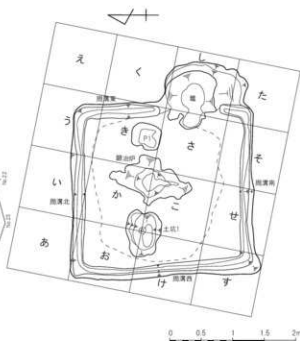
E-E'

- 1 黒褐色粘質土 締り強
- 2 黒褐色土 ローム粒重 締り強、1~2mm大ローム粒含む
- 3 黒褐色土 ローム粒多く重 締り強、3~5mm大ローム粒含む
- 4 黄褐色土 ロームと黒色土の混合 締り強

遺物出土状況



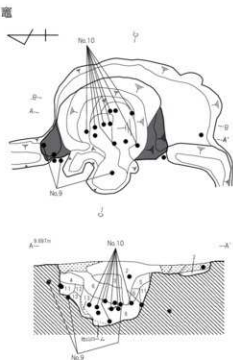
小グリッド設定図



※図中数字は第11表遺物観票表、第28-29面出土遺物D-C'図の掲載番号。

第26図 松山遺跡第49地点H36号住居跡・遺物出土状況図・小グリッド設定図 (1/60)

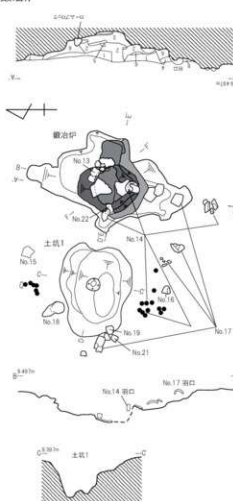
竈



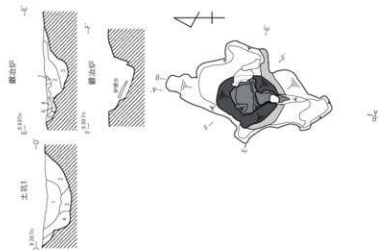
層

- 1 黒褐色土 粘性有、締り弱、2mm以下ローム粒・焼土粒少し、1cm大シニ状ローム粒極少し含む
- 2 黒褐色土 粘性有、締り弱、2mm以下ローム粒・焼土粒多く含む、5mm大炭化物少し含む
- 3 暗褐色土 粘性有、締り弱、褐色の粘性強いロームブロック
- 4 暗褐色土 粘性有、締り弱、ローム主体で1cm以下シニ状黒褐色土層状に多く含む
- 5 暗褐色土 粘性有、締り弱、2層主体にシニ状に暗褐色土の3層を多く含む
- 6 暗赤褐色土 粘性有、締りやや強、全体に焼土が多く赤褐色を呈する
- 7 暗褐色土 粘性有、締りやや強、1cm以下褐色ロームをブロック・シニ状に多く含む、5mm以下シニ状炭褐色土少し含む、焼土含まない
- 8 暗褐色土 粘性有、締りやや強、1cm大ローム・焼土ブロック少し、2mm以下焼土粒少し、同シニ状ローム極少し含む
- 9 暗灰褐色土 粘性有、締り強、3mm大焼土少し、2mm大シニ状炭化物極少し含む
- 10 暗褐色土 粘性有、締り強、ロームベースに3mm以下シニ状焼土、炭化物少し、1cm以下ロームブロック少し含む
- 11 黒褐色土 粘性有、締り強、黒褐色土主体に2cm大ロームブロック多く含む、焼土・炭化物含まない
- 12 暗灰褐色土 粘性有、締り強、層状で3mm以下シニ状焼土多く含む、層内炭化物
- 13 暗褐色土 粘性有、締り強、層状土・構築土、3mm以下シニ状焼土少し含む
- 14 黒褐色土 粘性有、締り強、2mm以下ローム粒多く含む

鍛冶炉



鍛冶炉掘方



土坑①

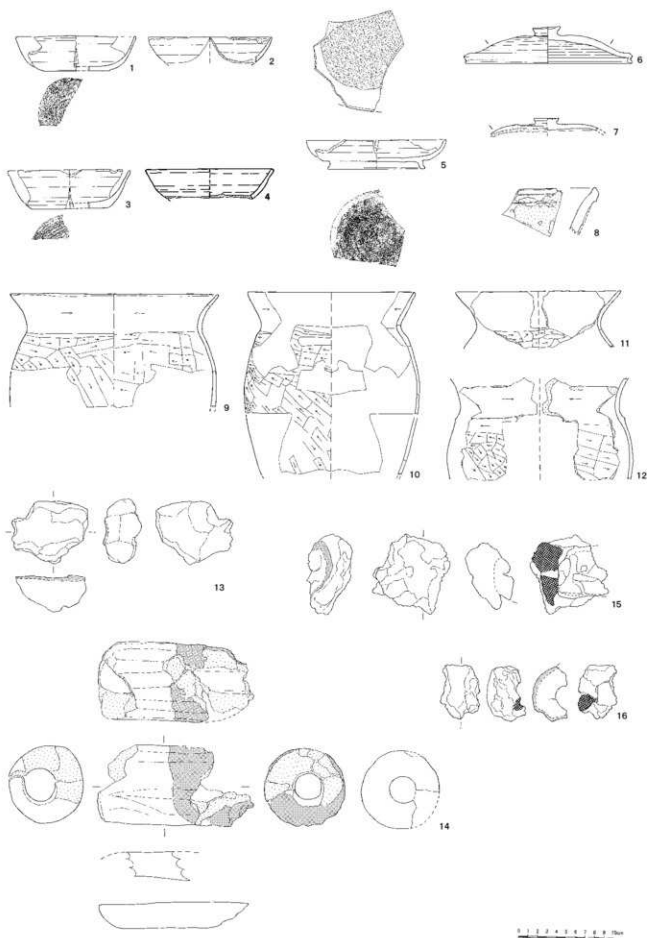
- 1 黒褐色土 粘性有、締り弱、2mm以下ローム粒多く、1mm以下焼土粒・炭化物極少し含む
- 2 黒褐色土 粘性有、締り弱、2mm以下ローム粒多く、同焼土粒少し、5mm以下炭化物少し含む
- 3 黒土 粘性有、締り弱、全体にシニ状炭化物多く黒色を呈する、5mm以下シニ状・ブロック状炭化物多く、2mm以下シニ状焼土少し含む
- 4 黒褐色土 粘性有、締り強、2cm以下焼土・ロームブロック多く含む、1mm以下ローム粒多く含む、黒褐色土も多く含む
- 5 黒褐色土 粘性有、締り強、黒褐色土と暗褐色土を混じり含み、2mm以下ローム粒多量を含む
- 6 暗褐色土 粘性有、締り強、ローム主体でシニ状黒褐色土少し含む、上層に5mm以下シニ状焼土少し含む
- 7 暗褐色土 粘性有、締り強、5mm以下ローム多量に含み、2mm以下炭化物極少し含む

土坑②

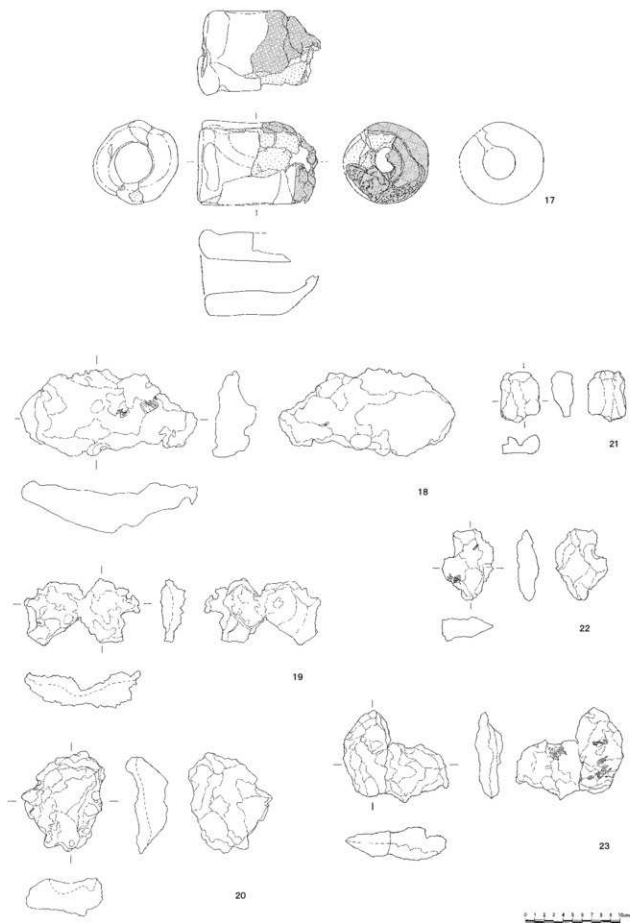
- 1 黒褐色土 粘性有、締り弱、2mm以下ローム粒多量を含む
- 2 黒褐色土 粘性有、締り弱、1cm大ロームブロック少し、2mm以下ローム粒多く含む
- 3 暗褐色土 粘性有、締り弱、2mm以下ローム粒多量を含む
- 4 暗褐色土 粘性有、締り弱、ローム主体に1cm以下シニ状黒褐色土少し含む、1mm大焼土粒極少し含む

※図中数字は第11表遺物観察表、第28・29図出土遺物①・②の掲載番号。

0 0.5 1m



第28図 松山遺跡第49地点H36号住居跡出土遺物① (1/4)



第29図 松山遺跡第49地点H36号住居跡出土遺物② (1/4)

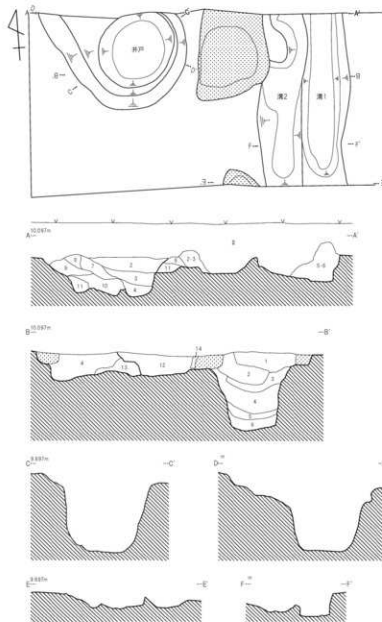
⑤溝

溝は井戸より新しく芋ピツ等の可能性もある。溝1

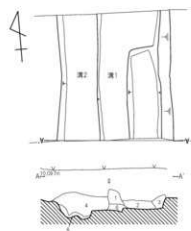
は上幅60~77cm、下幅32~87cm、深さ44.5cm、溝2の

上幅58~71cm、下幅26~56cm、深さ19.6cm。

トレンチ1 井戸、溝1・2



トレンチ2 溝1・2



トレンチ1 井戸、溝1・2

- 1 黒色土 粘性有、締り弱、表土 耕作土
- 2 黒色土 粘性有、締りやや強、2mm以下ローム粒少し含む
- 3 黒褐色土 粘性有、締りやや強、2cm以下ロームブロック多含む
- 4 黒褐色土 粘性有、締りやや強、2cm以下シニ状暗褐色土少し、5mm以下ローム粒少し含む
- 5 黒褐色土 粘性有、締りやや強、2層に同じ、ややロームブロックがシニ状を呈す
- 6 黒褐色土 粘性有、締りやや強、4層に類似、ロームブロック少し、2cm以下シニ状ローム多含む
- 7 暗褐色土 粘性有、締り強、顆粒状ローム主体にシニ状黒褐色土粒少し含む
- 8 黒褐色土 粘性有、締りやや弱、1cm大ロームブロック少し、2mm以下ローム粒多含む
- 9 黒褐色土 粘性有、締りやや弱、1cm大ロームブロック粒少し、2mm以下ローム粒多層に含む
- 10 黒褐色土 粘性有、締り強、3cm以下ロームブロック少し、2mm以下ローム粒少し含む
- 11 暗褐色土 粘性有、締り弱、やや汚れたローム主体に1cm大ロームブロック粒少し、1mm大ローム粒少し含む
- 12 黒褐色土 粘性有、締り弱、5cm以下ロームブロック多含む
- 13 褐色土 粘性有、締り弱、10cm大ロームブロック主体に黒褐色土粒少し含む
- 14 褐色土 粘性有、締り弱、ローム(ブロック状)

トレンチ2 溝1・2

- 1 黒褐色土+暗褐色土 粘性有、締り弱、ロームブロック粒多含む
- 2 黒褐色土 粘性有、締り弱、ローム粒含む
- 3 黒褐色土+暗褐色土 粘性有、締り弱、シニ状ローム、ロームブロック含む
- 4 黒褐色土 粘性有、締り弱、ローム粒含む
- 5 黒褐色土 粘性有、締り弱、ローム粒含む(2・4層より多)
- 6 黒褐色土+暗褐色土 粘性有、締り弱、シニ状ローム、ロームブロック含む

トレンチ3 P1



ピット1

- 1 黒色土 粘性有、締り強、2mm以下ローム粒やや多含む(中・近壁)

井戸



遺溝外



第30図 松山遺跡第49地点井戸・溝・ピット (1/60)、井戸・遺溝外出土遺物 (1/4)

第6章 江川南遺跡第24地点の調査

I 遺跡の立地と環境

江川南遺跡は、入間川支流の新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約300～500m程下った右岸に位置している。

遺跡の標高は20～21mで、現谷底との比高差は1～2mを測る。福岡江川北側の左岸は急傾斜を成すが、本遺跡をのせる南側右岸の台地は緩やかに傾斜する。

遺跡の中央部を南北に川越街道がはしり、川越街道から東に県道東大久保・大井線が延びる。主要道路が交叉し、東武東上線福岡駅から約1kmという立地条件のため、昭和40年代には個人住宅や工場などの急激な開発による市街化がなされ現在に至っている。

周辺の遺跡は、福岡江川の北西側対岸に縄文時代中期前葉の単一集落である亀居遺跡が位置し、同じく北本遺跡は当初、地藏院遺跡と江川南遺跡とに分かれていたが、平成5年に遺跡の変更増補を行ない、江川南遺跡に統一した。なお、1985年に調査した地藏院遺

跡第1地点は江川南遺跡第6地点に名称を変更した。また平成9年には亀久保堀跡遺跡と本遺跡を分けた。

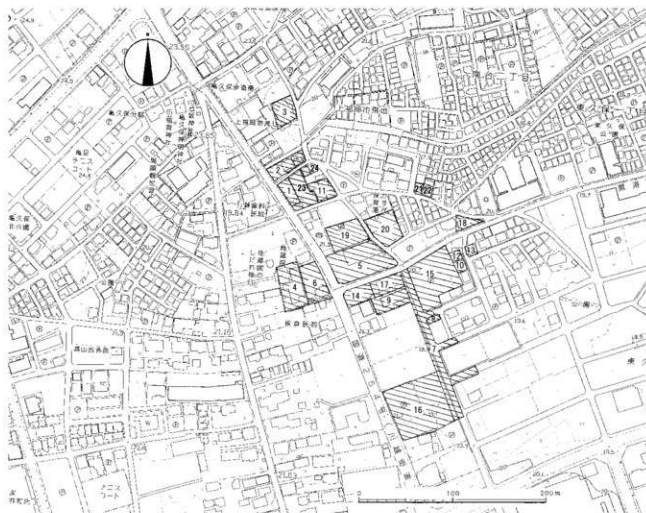
本遺跡では旧石器時代の石器集中・礫群、縄文時代中期の住居跡・土坑等、古代～中世の堀跡、地蔵院に関わる近世の遺構群等、遺跡の時期は多岐にわたる。

2011年12月現在、24地点で試掘調査及び発掘調査が行なわれている。北側に鶴ヶ舞遺跡が位置する。東側約150mには、平安時代の遺物を出土する江川東遺跡と、同じく東側約50mに東久保遺跡が位置する。

II 本調査に至る経過と調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2009年10月20日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内に位置するため、原因者と協議の結果、遺構等の存在を確認するための試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年12月4日から10日まで行なった。



第31図 江川南遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

幅2mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査行なった結果、堀跡の続きを確認した。さらに1m四方の小トレンチ4ヶ所と1×2mの小トレンチ1ヶ所を掘り下げ確認したところ、旧石器時代の遺物を検出した。

遺跡確認面までの深さは約30～40cmで、遺跡への影響が避けられないため原因者と再度協議の結果、原因者負担による本調査を実施した。

本調査は2009年12月14日から28日まで行ない、亀久保堀跡の続きと、旧石器時代の礫群と石器集中を検出した。

Ⅲ 遺構と遺物

①集石土坑

調査区の北西部で集石土坑1基を検出した。覆土層の観察から縄文時代の時期とみられる。出土礫の詳細は第13表のとおりである。

②堀跡

全長800m以上にわたって確認されている堀跡の北端の一部を検出した。

断面形は、これまで確認されているものと同じ逆台形の箱築研状である。底部には構築時の掘り方とみられる楕円形状の凹凸が残る。検出部の規模は上幅232～260cm、下幅120～183cm、深さ79.3cmで北に傾斜する。

③旧石器時代の遺構と遺物

石器集中と礫群は立川ローム層第IV層より検出した。石器集中1・礫群1を中心に小規模に密集する礫群2・3・4が位置する。石器集中1は礫群1の東側にやや密集し南側に広がるが、礫と石器の分布域を明確に分けられないため、石器の分布を石器集中1、礫の分布を礫群1とした。石器集中と礫群の垂直分布は標高20.0～20.4mに分布する。石器集中1と礫群2から、チャートの石核・剥片が4点出土する以外は石器の石材は黒曜石主体である。礫群のほとんどは砂岩である。

遺構の規模と出土遺物、礫の詳細は第13表、第14表のとおりである。

④その他（遺構外出土）の遺物

10は波状口縁で金雲母を含む。11は隆帯脇にキョウピラ文とベン先状工具の三角押文・沈線文。12は口縁部無文帯にR L縄文。13は隆帯脇に沈線とベン先状工具の三角押文・キョウピラ文・蓮華文。14は刻目隆帯脇に爪形文と波状沈線文。15は刻目隆帯に半隆帯の沈線文と爪形文にR L縄文。17は微隆帯にR L縄文、18は沈線に幅広摩消とL R縄文、19は沈線文、20はR L縄文、21は底部、22は台付の底部で穿孔がみられる。10は阿玉台系、11～16・22は勝飯Ⅱ～Ⅲ、17～19は加曾利EⅢ～Ⅳ。石器の詳細は第14表のとおりである。

第13表 江川南遺跡第24地点集石土坑・礫群・石器集中出土礫観察表

(単位cm・g・%)

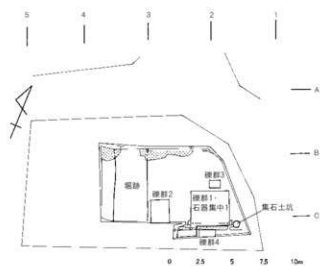
遺物名	平面形状	確認面積	直径	長さ	厚さ	重量	総重量	平均重量	成出回数	定形回数	焼成回数	テール・張り付回数	未焼成・テール・張り付回数
集石土坑1	不整形	44×39	21×11	15.5	11×6	4	226.7	56.68	4(100)	0	0	0	4(100)
礫群1	円形	—	—	33.9	125×125	105	14,973.45	142.60	88(83.80)	8(7.62)	38(36.19)	49(46.66)	45(42.85)
礫群2	不整形	—	—	28.3	165×126	36	3,339.50	92.76	33(91.66)	3(8.30)	14(38.88)	11(30.55)	15(41.66)
礫群3	不整形	—	—	4.7	45×16	14	1,803.40	128.81	13(92.85)	1(7.15)	2(14.28)	7(50.00)	8(57.14)
礫群4	不整形	—	—	10.1	53×15	14	824.30	58.87	13(92.85)	1(7.15)	3(21.42)	2(14.28)	9(64.28)
石器集中1	「U」字形	—	—	28.5	2.25×75	58	23.79	0.41	—	—	—	—	—

※石器集中1の数値は剥片(細部調整剥片含む)・砕片、石器(ナイフ・石核・礫)のデータである。

第14表 江川南遺跡第24地点出土石器計測表

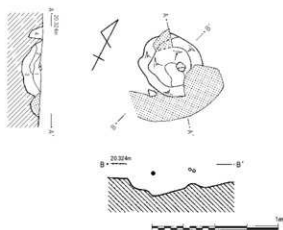
(単位cm・g)

国図番号	No	出土遺物名	種類・型式	長さ	幅	厚さ	重量	石材	技法・文様・その他	推定年代	残存・備考
第34 国	1	表土一括	石器/ナイフ形石器	3.3	1.3	0.7	3.09	安山岩	原礫面残す石刃素材、二側縁調整/灰色/注記№表土一括	旧石器時代	完形
	2	礫群1・石器集中1	石器/ナイフ形石器	1.9	1.4	0.7	1.52	黒曜石	両側縁調整/注記№76	旧石器時代	1/2
	3	礫群1・石器集中1	石器/礫	2.6	1.5	0.7	2.65	黒曜石	側縁調整、未端部にノッチ加工、ドリル?注記№112	旧石器時代	完形
	4	礫群1・石器集中1	石器/細部調整剥片	2.2	1.2	0.7	0.89	黒曜石	基部凹型にノッチ加工/注記№110	旧石器時代	
	5	覆層土	石器/細部調整剥片	2.4	1.3	0.6	1.21	黒曜石	側縁にノッチ加工/注記№掘内2トレンチ	旧石器時代	
	6	表土一括	石器/細部調整剥片	1.5	1.1	0.6	0.54	黒曜石	側縁にノッチ加工/注記№表土一括	旧石器時代	
	7	礫群2	石器/横長剥片	2.0	4.3	0.5	3.54	チャート	基部端に微細な細部調整/注記№179	旧石器時代	
	8	礫群1・石器集中1	石器/石核	3.6	1.9	1.3	6.39	チャート	石核と考えられるが、角錐状石器・ナイフ形石器未製品の可能性有り。№7横長剥片と石材類似/注記№170	旧石器時代	
	9	覆層土	石器/石核	3.2	4.3	3.2	28.21	黒曜石	原礫面残す/注記№掘内1トレンチ内カクラン	旧石器時代	
23	覆層土	石器/巖石・磨石	4.4	7.0	1.5	56.53	安山岩	注記№掘一括	縄文時代	側縁一部	
24	覆層土	石器/打製石片	6.6	4.2	1.9	55.41	細粒砂岩	注記№掘内2トレンチ一括	縄文時代	刃部欠損	



※DD'は第三次掘り上げのDD'に対応。

集石土坑



集石土坑

- 1 黒色土 粘り有、粘性有、灰色味のある暗褐色土を底状に少し含む、4cm 大横・ロームブロック・2mm以下ローム粒・微土少し含む
- 2 黒褐色土 粘り有、粘性有、1層より灰色味が少し調明い、1mm以下ローム粒・微土少し含む
- 3 暗褐色土 粘り弱、粘性有、ローム土を底状に多く、1~5cm以下ロームブロックやや多く、2mm以下灰化物少し含む
- 4 暗褐色土 粘り有、粘性有、ベースは3層と同じ土質でローム主体、うっすら底状に黒褐色土含む
- 4層は集石1とは別の凹み

堀跡

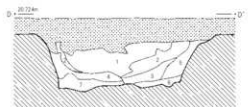
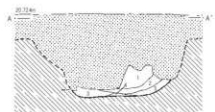
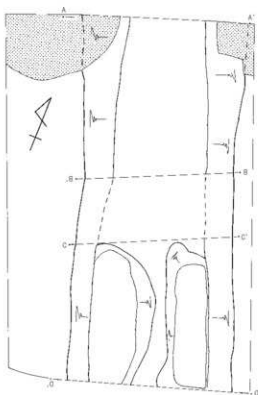
A-A'

- 1 黒褐色土 粘り弱、サラサラした
- 2 赤褐色土 ローム粒を含む、底状に黒褐色土少し含む
- 3 暗褐色土 粘り強、1cm以下ロームブロック粒を含む、黒褐色土は含まない
- 4 暗褐色土 粘り強、ほぼソコ質のローム土で占められる

B-B' ~ D-D'

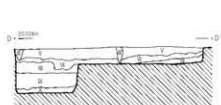
- 1 黒褐色土 粘性有、1mm以下ローム粒少し、灰化物物少し含む、1~4層に旧石器層、縄文土器片多く含む
- 2 黒褐色土 粘性有、1層より明い、ローム粒1層より少ない、灰化物含まない
- 3 黒褐色土 粘性有、2層より暗い黒褐色土と暗褐色土を底状に含み、1mm以下ローム粒少し含む
- 4 暗褐色土 粘性有、1~2層より明い、暗褐色土と黒褐色土を底状に含み、1mm以下ローム粒1~2層より多く含む
- 5 褐色土 粘性有、ほぼローム散在土で、シミ状に黒褐色土少し含む
- 6 暗褐色土 粘性有、粘り強、5cm以下ロームブロック多く、黒褐色土やや多く含む
- 7 暗褐色土 粘性有、粘り強、7cm以下ロームブロック多く含む

堀跡

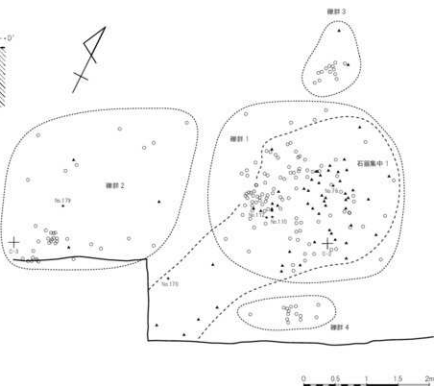


0 0.5 1 1.5 2m

第32図 江川南遺跡第24地点遺構配置図 (1/300)、集石土坑 (1/30)、堀跡 (1/60)

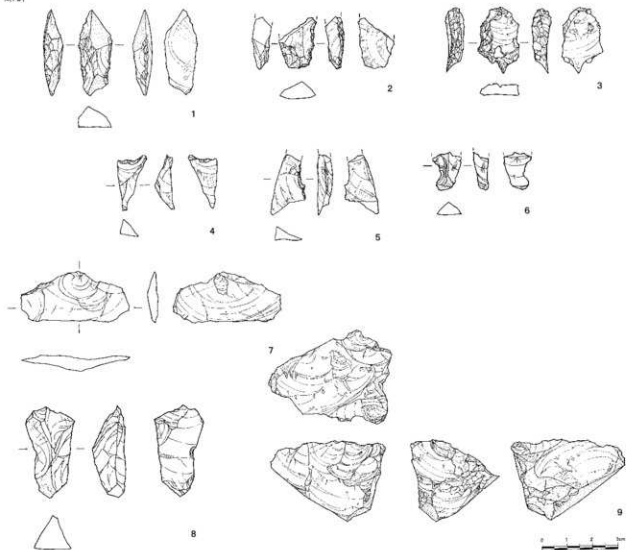


- III. ローム 暗黄褐色ソフトローム 1mm 以下黒色粒わずかに含む
- V. 暗黄褐色ローム層 白色粒 (0.5mm 以下) 多く、赤色粒 (2mm 以下)、黒色粒 (2mm 以下) 少し、褐色粒 (2mm 以下) わずかに含む。色調V層よりやや暗い。立川ロームV層(ブラックバンド)相当
- VI. 暗黄褐色ローム層 色調暗めの土に混状に明黄褐色土が多く混ざる。白色粒 (0.5mm 以下) やや多く、赤色粒 (2mm 以下)、黒色粒 (2mm 以下) 少し、褐色粒 (2mm 以下) 少し含む。立川ロームVI層相当
- VII. 暗黄褐色ローム層 白色粒 (0.5mm 以下)、赤色粒 (2mm 以下)、黒色粒 (2mm 以下) 少し。橙～黄褐色粒 (2mm 以下) やや多く含む。色調V層より暗い。立川ロームV層(ブラックバンド)相当
- IX. 暗黄褐色ローム層 白色粒 (0.5mm 以下)、赤色粒 (2mm 以下)、黒色粒 (粒径不明) 少し、褐色粒 (2mm 以下) やや多く含む。色調V層より暗い。立川ロームIX層(ブラックバンド)相当
- X. 明黄褐色ローム層 白色粒 (0.5mm 以下)、赤色粒 (1mm 以下)、黒色粒 (1mm 以下) わずかに含む。立川ロームX層相当

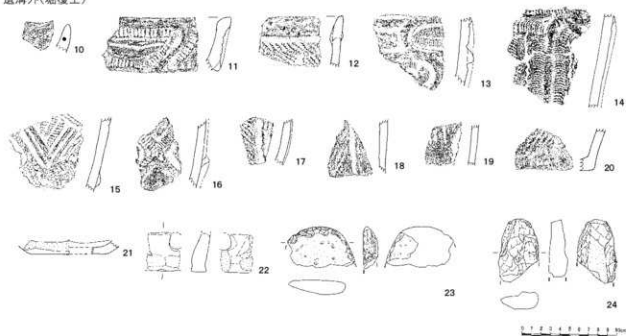


第33図 江川南遺跡第24地点旧石器出土状況図 (1/60)

礫群



遺溝外(堀覆土)



第34図 江川南遺跡第24地点出土旧石器・縄文土器・石器 (1/4・2/3)

第7章 駒林遺跡第9地点の調査

I 遺跡の立地と環境

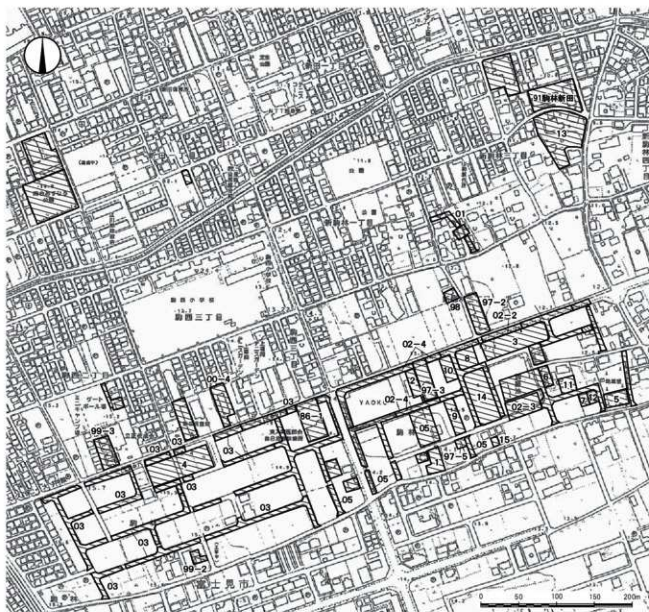
駒林遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の右岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地し、標高12～15m前後の平坦地を形成する。もともと遺跡の範囲は南北300m、東西800mの広大な範囲であったが、2002年から2004年にかけて行なった駒林土地区画整理事業に伴う試掘調査の結果、大半の地域で遺構を確認できなかったため、大溝を検出した南北160m、東西80mの範囲に遺跡を縮小し、さらに地下式坑を検出した周辺を駒林新田前遺跡として独立させ、新たな包蔵地として2004年3月に追加した。

第3地点で検出した溝と過去の試掘調査で検出した

溝の配置を再検討した結果、一辺140～160mの台形区画に溝が巡る事が明らかとなり、2008年2月に遺跡範囲の変更増補を行なった。区画整理後は開発が進み、宅地と商業地に変貌を遂げ、部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、すぐ北側に瓦石と板碑を検出した駒林中世墳墓、東側に地下式坑を検出した駒林新田前遺跡、500m下流に福岡新田遺跡、南側にも地下式坑を検出した富士見市の稲荷久保北遺跡がある。

2002年以降の試掘調査の結果、幅5m、深さ2mの大溝や茶毘跡を検出する。縄文時代の集土土坑等も僅かに存在するが、周辺の遺跡の様相から遺跡の主な時期は中世から近世と思われる。



第35図 駒林遺跡の地形と調査区 (1/5,000)

II 本調査に至る経過と調査の概要

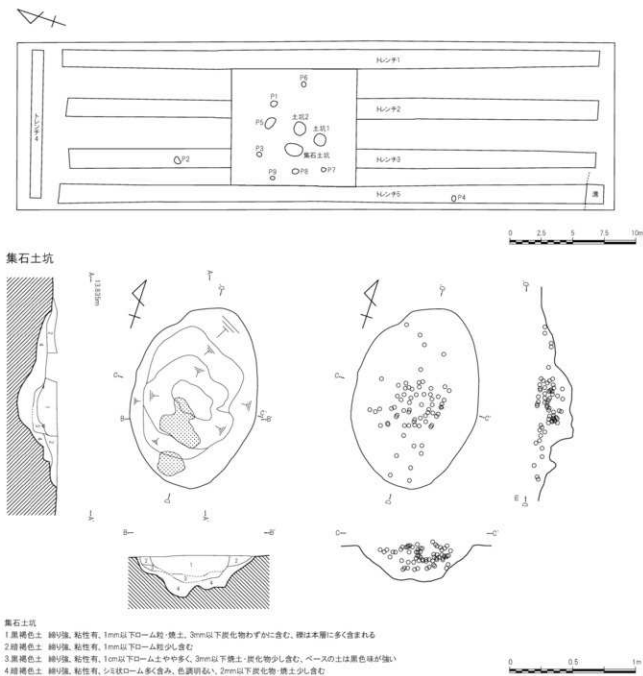
調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2009年6月27日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の範囲中央部に位置するため、原因者と協議の結果、遺構の分布を確認し遺跡範囲を明らかにするための試掘調査を実施した。

試掘調査は同年7月22日から30日まで行なった。幅2mのトレンチ4本を設定し重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、集石土坑1基、土坑

1基を確認した。遺構の時代は、覆土層の観察から縄文時代とみられた。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

地表面から遺構確認面までの深さは約20cmであり、開発による遺跡への影響が避けられないため原因者と再度協議の結果、原因者負担による本調査を実施した。

本調査は2009年7月30日から8月5日まで行ない、縄文時代集石土坑1基、土坑2基、ピット9基、時期不明の溝1本を検出した。



第36図 駒林遺跡第9地点遺構配置図 (1/300)、集石土坑 (1/30)

Ⅲ 遺構と遺物

①集石土坑

調査区の北西部で集石土坑1基を検出した。覆土層の観察から縄文時代の時期とみられる。

土坑の平面形態は楕円形を呈し、規模は確認面径145×100cm、底径39×23cm、深さ29cmを測る。出土礫の詳細は第15表のとおりである。

②土坑・ピット

土坑1・2は集石土坑の東側に位置する。覆土層の観察から集石土坑と類似するため縄文時代とみられる。

ピット1・3・5～9は集石土坑と土坑を囲むように位置する。覆土層の観察から集石土坑や土坑と同時期のものとみられる。土坑・ピットの詳細は第16表のとおりである。

第16表 駒林遺跡第9地点土坑・ピット一覧表 (単位cm)

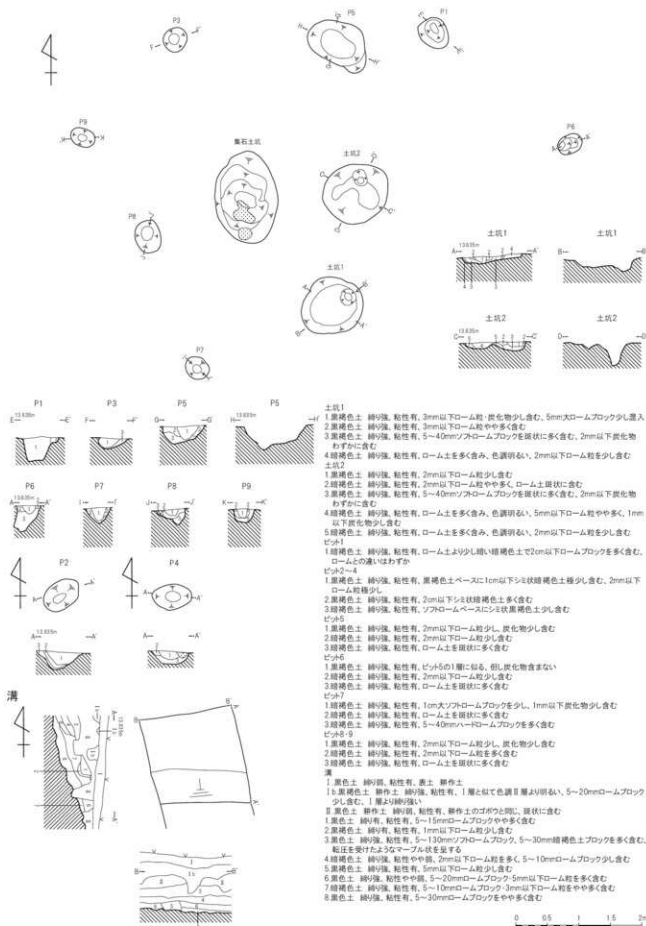
No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
土坑1	円形	101×92	13×10	23.4	
土坑2	円形	108×93	10×10	37.1	
P1	円形	53×44	18×10	48.3	
P2	楕円形	63×42	23×12	28.6	
P3	円形	39×37	16×16	21.3	
P4	楕円形	52×42	24×12	24.0	
P5	楕円形	104×66	57×37	30.4	
P6	楕円形	40×29	13×8	43.5	
P7	円形	40×33	15×13	29.0	
P8	方形	50×40	23×18	25.4	
P9	楕円形	40×27	14×10	29.8	

第15表 駒林遺跡第9地点集石土坑出土礫観察表

(単位cm・g・%)

集石No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	確認回数	総点数	総重量	平均重量	破損個数	完形個数	焼成個数	ケール・覆付着数	未焼成・ケール・覆未付着数
1	楕円形	145×100	39×23	29.9	123×55	76	1,936.2	25.48	76(100)	0	14(18.4)	9(11.8)	55(72.4)

集石土坑、土坑1・2、P1・3・5～9



第37図 駒林遺跡第9地点土坑・ピット・溝 (1/60)

第8章 神明後遺跡第39地点の調査

I 遺跡の立地と環境

神明後遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約300m、さかい川の谷頭部から約1,500m下った右岸に位置し、標高12～16m、現谷底との比高差は1.5mを測る。さかい川は本遺跡付近から崖を形成し始め、本遺跡をのせる南側台地は急斜面、対岸の北側は緩やかな斜面を形成している。

周辺の遺跡は、上流に中沢前遺跡、下流に浄禪寺跡遺跡・苗間東久保遺跡が隣接し、さかい川の対岸には富士見市の外記塚遺跡がある。

遺跡周辺は古くからの集落があり、現在でも大きな屋敷地が多く残っていたが、ふじみ野駅の開設に伴い今後徐々に再開発が進むと思われる。

本遺跡の最初の調査は1987年に町史編纂事業の一環として行なわれた。その後1993年に新駅へ延びる道路をはじめ、2010年3月現在36地点で試掘調査および発掘調査が行なわれている。

これまでの調査で縄文時代中期後半～後期前半の住居跡、奈良時代から平安時代の住居跡、中世の建物跡などの遺構を検出した。

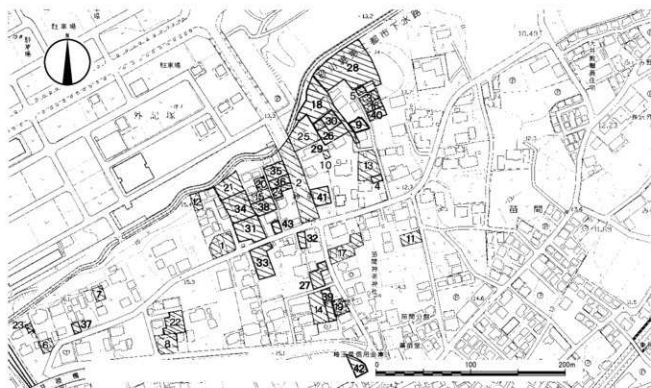
II 本調査に至る経過と調査の概要

(1) 調査の概要

調査は共同住宅の建設に伴うもので、原因者より2009年6月29日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の範囲内に位置するため、原因者と協議の結果、遺構等の存在を確認するための試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年8月5日から12日まで行なった。幅約2mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行なった結果、溝、土坑、ピット等を確認した。旧石器時代の確認調査は行っていない。地表面から遺構確認面までの深さは約40～50cmであり、開発による遺跡への影響が避けられないため原因者と再度協議の結果、原因者負担による本調査を実施した。

本調査は2009年8月24日から9月1日まで行ない、中世以降の溝2本、ピット28基、縄文時代落とし穴1基を検出した。



第38図 神明後遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

Ⅲ 遺構と遺物

①落とし穴

溝1・2より古く、覆土層の観察から縄文時代と考えられる。平面形態は楕円形を呈し、規模は確認面径150×77cm、底径85×15cm、深さ86cmである。

②ピット

ピットは覆土層の観察から中世以降に属するとみられる。詳細は第17表のとおりである。

③溝

溝1・2は東西方向に並行して延びる。両溝ともに東側の掘り込み位置はほぼ同じで、断面形も逆台形で同じである。両遺構の新旧関係は不明であるが、性格や時期等は類似するものとみられる。

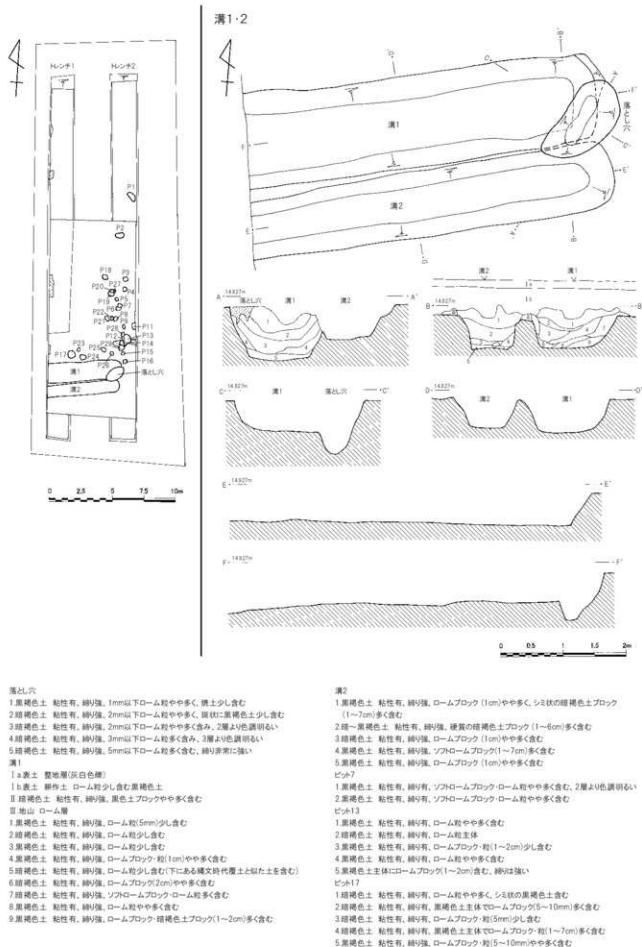
【溝1】溝1は溝2の北側に東西方向に延び、落とし穴より新しい。溝2との新旧関係は不明である。

断面形態は深い逆台形で、規模は上幅132～152cm、下幅78～93cm、深さ69.9cmである。底部は平坦でやや西に傾斜している。

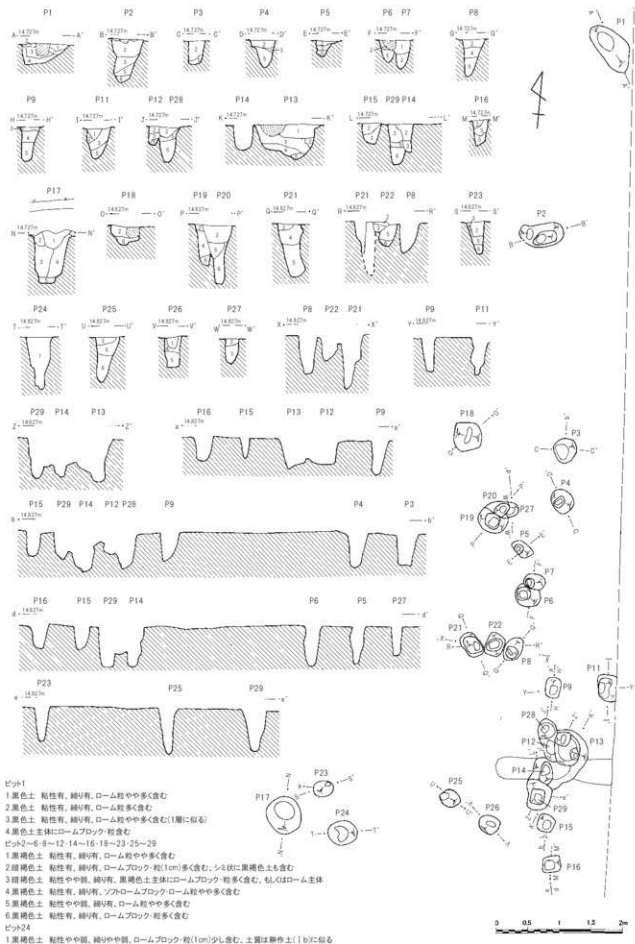
【溝2】溝2は溝1の南側に位置する。規模は上幅90～108cm、下幅43～54cm、深さ52.4cmである。溝1よりやや細いが、断面形は同じである底部も同様に平坦である。

第17表 神明後遺跡第39地点落とし穴・ピット一覧表
(単位cm)

No	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
落とし穴	楕円形	150×77	85×15	86.0	
1	楕円形	87×45	34×20	34.2	
2	楕円形	68×36	17×12	77.2	
3	方形	36×34	24×18	49.0	
4	円形	37×33	13×6	55.2	
5	方形	33×21	9×4	60.3	
6	方形	38×31	13×12	63.0	
7	方形	31×24	10×7	57.3	
8	楕円形	40×25	10×4	60.3	
9	方形	31×23	15×12	55.3	
10	欠番				
11	方形	40×30	17×9	60.2	
12	不明	(38)×(17)	22×(13)	34.0	
13	不明	(97)×-	(75)×-	46.3	
14	方形	37×35	16×14	62.6	
15	方形	28×26	14×12	40.4	
16	方形	28×26	15×15	38.9	
17	方形	57×52	32×27	81.9	
18	方形	47×43	26×7	35.8	
19	不明	46×(30)	15×12	70.5	
20	不明	(36)×(27)	11×10	97.3	
21	方形	40×27	14×9	85.9	
22	方形	35×27	18×12	40.9	
23	方形	30×24	9×5	47.6	
24	円形	46×39	26×15	82.7	
25	方形	30×26	14×11	73.8	
26	方形	33×28	14×7	50.6	
27	不明	(23)×(15)	13×8	45.4	
28	三角形	33×28	12×10	57.4	
29	方形	50×38	13×12	65.7	



第39図 神明後遺跡第39地点遺構配置図(1/300)、溝1・2(1/60)



第40図 神明後遺跡第39地点ピット (1/60)



滝遺跡第 15 地点 H20 号住居跡



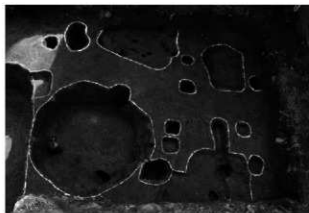
滝遺跡第 15 地点 H20 号住居跡竈



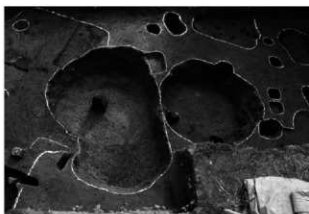
滝遺跡第 15 地点 H20 号住居跡遺物出土状況



滝遺跡第 15 地点 H20 号住居跡遺物出土状況



滝遺跡第 15 地点土坑 4~7、ピット 8~12・14~18



滝遺跡第 15 地点土坑 7~9 他



滝遺跡第 15 地点全景 (西から)

滝遺跡第 15 地点 (2)



滝遺跡第 15 地点井戸、土坑 1・3、ピット 3～7



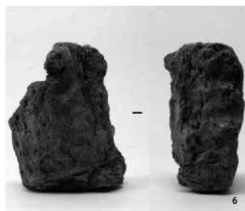
滝遺跡第 15 地点調査風景



3



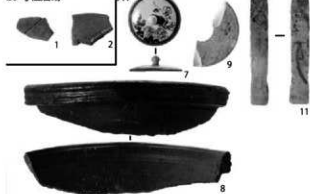
4



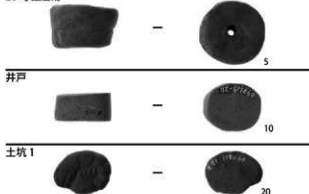
6

滝遺跡第 15 地点 20 号住居跡出土遺物 No.3・4・6

20 号住居跡

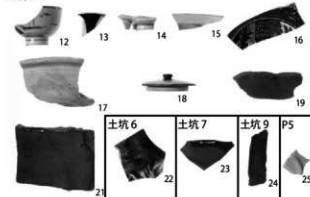


20 号住居跡



滝遺跡第 15 地点出土遺物 No.1・2・7・9・11

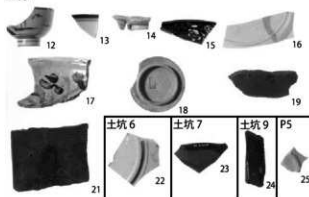
土坑 1



同上 出土遺物 No.12 ~ 19・21 ~ 25 表面

滝遺跡第 15 地点出土遺物 No.5・10・20

土坑 1



同上 出土遺物 No.13・15 ~ 18・21・22・24 裏面



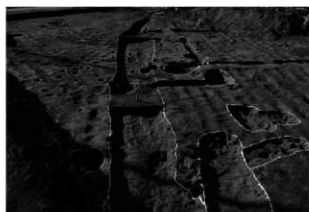
長宮遺跡第 30 地点全景 (北から)



長宮遺跡第 30 地点溝 1



長宮遺跡第 30 地点溝 1



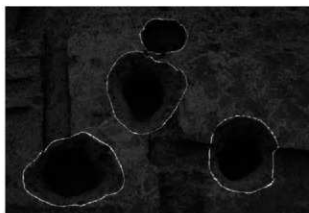
長宮遺跡第 30 地点溝 1



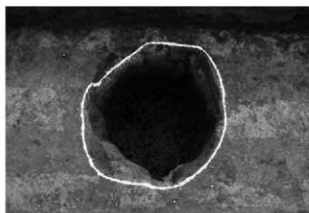
長宮遺跡第 30 地点溝 1、土坑 2・6・8・9



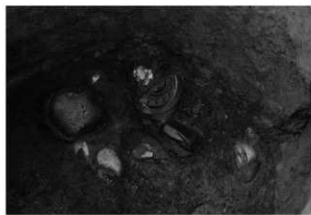
長宮遺跡第 30 地点ピット全景



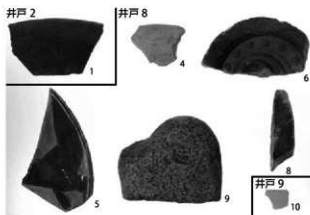
長宮遺跡第 30 地点井戸 2・7・9、土坑 5



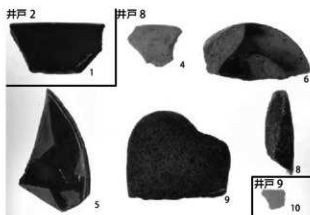
長宮遺跡第 30 地点井戸 8



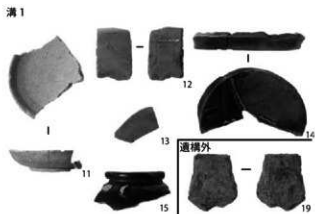
長宮遺跡第 30 地点井戸 8 遺物出土状況



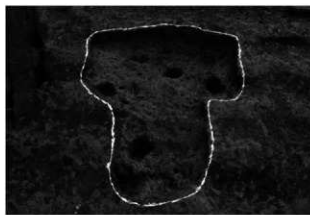
長宮遺跡第 30 地点出土遺物 No.1・4・6・8・10 表面



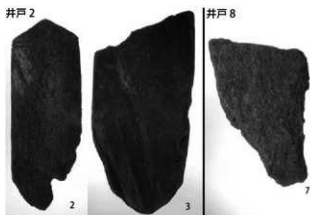
同上 出土遺物 No.1・6・8・9 裏面



同上 出土遺物 No.11 ~ 15・19



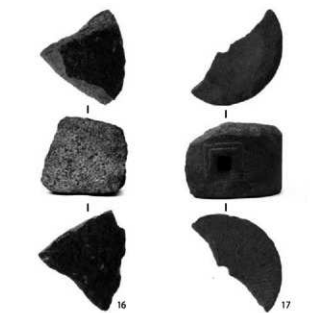
長宮遺跡第 30 地点土坑 6



長宮遺跡第 30 地点出土遺物 No.2・3・7



同上 遺構外出土遺物 No.18



同上 溝 1 出土遺物 No.16・17



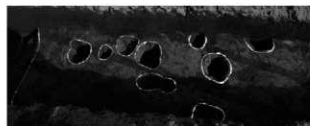
長宮遺跡第 32 地点トレンチ 1 土坑 11 他



長宮遺跡第 32 地点トレンチ 1 溝 2 他



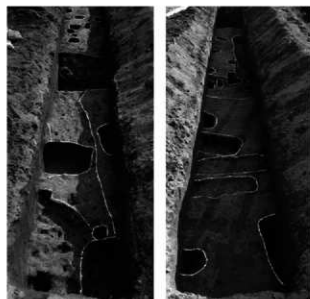
長宮遺跡第 32 地点トレンチ 2 土坑 3 ~ 6 他



長宮遺跡第 32 地点トレンチ 2 ビット



長宮遺跡第 32 地点北側調査区全景 (南から)



トレンチ 2 全景 (北から) トレンチ 3 全景 (北から)

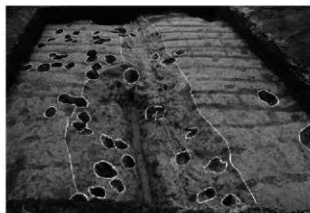


長宮遺跡第 32 地点北側調査区近景 (東から)

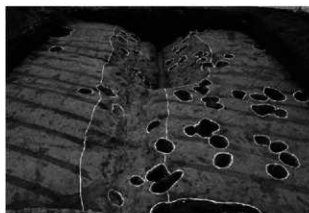


長宮遺跡第 32 地点北側調査区近景 (西から)

長宮遺跡第 32 地点 (2)



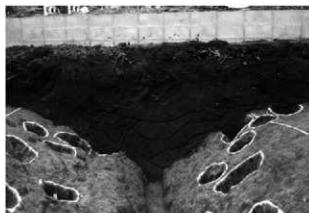
長宮遺跡第 32 地点南側調査区全景 (東から)



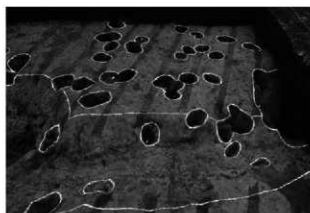
長宮遺跡第 32 地点南側調査区全景 (西から)



長宮遺跡第 32 地点南側調査区全景 (北から)



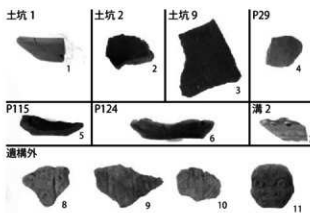
長宮遺跡第 32 地点溝 1、土坑 10 土層



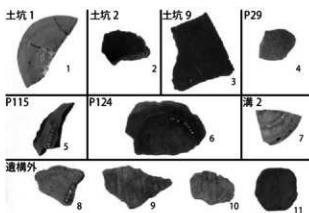
長宮遺跡第 32 地点南側調査区近景 (北から)



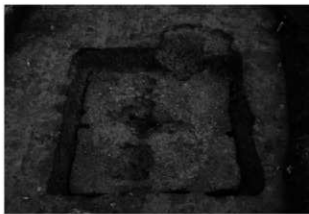
長宮遺跡第 32 地点南側調査区近景 (南から)



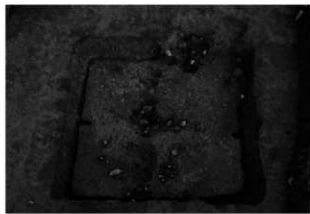
長宮遺跡第 32 地点出土遺物 No.1 ~ 11 表面



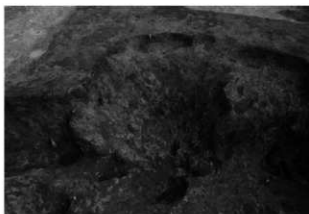
長宮遺跡第 32 地点出土遺物 No.1・5 ~ 8・11 裏面



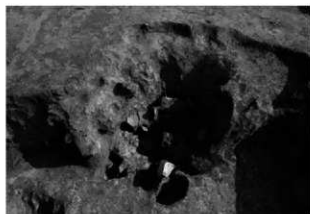
松山遺跡第 49 地点 H 36 号住居跡



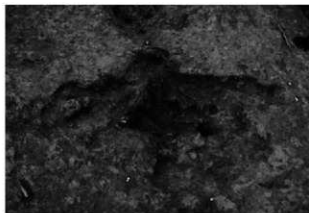
松山遺跡第 49 地点 H 36 号住居跡遺物出土状況



同上 H 36 号住居跡竈



同上 H 36 号住居跡竈遺物出土状況



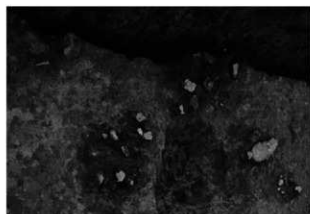
同上 H 36 号住居跡鍛冶炉



同上 H 36 号住居跡鍛冶炉遺物出土状況

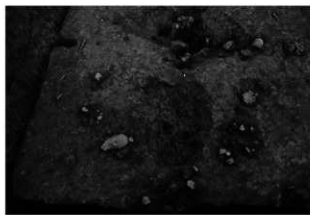


同上 H 36 号住居跡鍛冶炉遺物出土状況

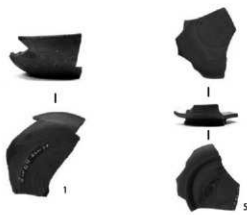


同上 H 36 号住居跡遺物出土状況

松山遺跡第 49 地点 (2)



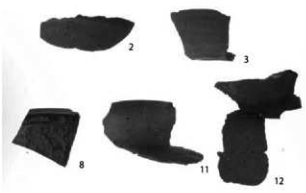
松山遺跡第 49 地点 H 36 号住居跡遺物出土状況



松山遺跡第 49 地点 H 36 号住居跡出土遺物 No.1・5



同上 H 36 号住居跡出土遺物 No.4・6・7



同上 H 36 号住居跡出土遺物 No.2・3・8・11・12

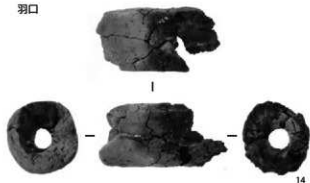


同上 H 36 号住居跡出土遺物 No.9



同上 H 36 号住居跡出土遺物 No.10

羽口



同上 H 36 号住居跡出土遺物 No.14

羽口



同上 H 36 号住居跡出土遺物 No.17

炉壁



13

松山遺跡第 49 地点 H 36 号住居跡出土遺物 No.13

流動滓



21

椀形滓



23

椀形滓



22

同上 H 36 号住居跡出土遺物 No.21 ~ 23 表面

椀形滓



18

同上 H 36 号住居跡出土遺物 No.18 表面

椀形滓



19

椀形滓



20

同上 H 36 号住居跡出土遺物 No.19・20

羽口



15

羽口



16

松山遺跡第 49 地点 H 36 号住居跡出土遺物 No.15・16

流動滓



21

椀形滓



23

椀形滓



22

同上 H 36 号住居跡出土遺物 No.21 ~ 23 裏面

椀形滓



18

同上 H 36 号住居跡出土遺物 No.18 裏面

遺構外



2

3

4

5

井戸 7



1

6

同上 井戸 7・遺構外出土土器 No.1 ~ 6

江川南遺跡第 24 地点 (1)



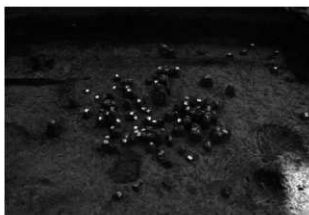
江川南遺跡第 24 地点旧石器出土状況 (西から)



江川南遺跡第 24 地点旧石器出土状況 (東から)



江川南遺跡第 24 地点旧石器出土状況 (北から)



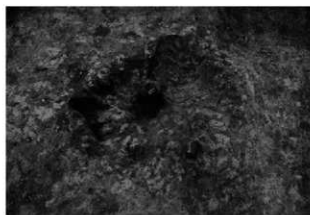
江川南遺跡第 24 地点旧石器出土状況 (北から)



江川南遺跡第 24 地点調査区近景 (西から)



江川南遺跡第 24 地点土層



江川南遺跡第 24 地点集石土坑



江川南遺跡第 24 地点堀跡



江川南遺跡第 24 地点出土石器 No.1・2



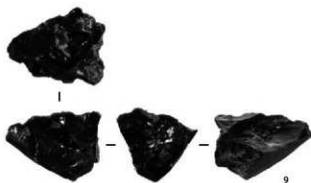
江川南遺跡第 24 地点出土石器 No.3・4



江川南遺跡第 24 地点出土石器 No.5・6



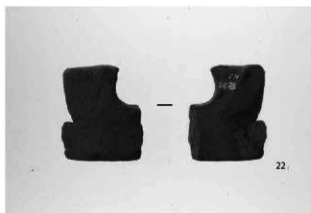
江川南遺跡第 24 地点出土石器 No.7・8



江川南遺跡第 24 地点出土石器 No.9



江川南遺跡第 24 地点出土石器 No.10～21

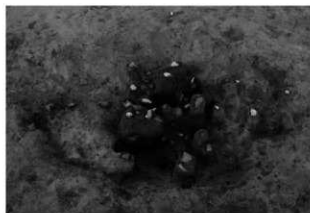


江川南遺跡第 24 地点出土石器 No.22

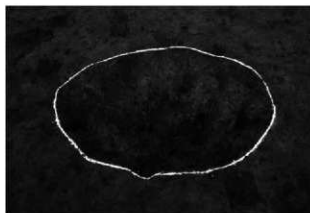


江川南遺跡第 24 地点出土石器 No.23・24

駒林遺跡第9地点



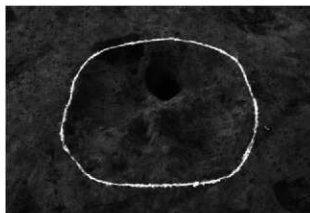
駒林遺跡第9地点集石土坑遺物出土状況



駒林遺跡第9地点集石土坑



駒林遺跡第9地点土坑1遺物出土状況



駒林遺跡第9地点土坑2



駒林遺跡第9地点全景(西から)



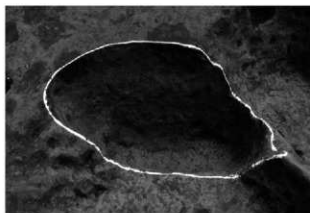
駒林遺跡第9地点全景(南から)



駒林遺跡第9地点調査風景



駒林遺跡第9地点調査風景



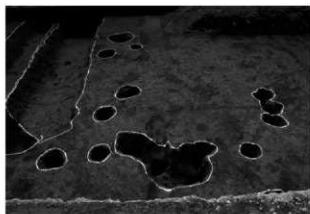
神明後遺跡第 39 地点落とし穴



神明後遺跡第 39 地点落とし穴



神明後遺跡第 39 地点溝 1・2



神明後遺跡第 39 地点ピット、溝 (東から)



神明後遺跡第 39 地点全景 (南から)



神明後遺跡第 39 地点全景 (北から)



神明後遺跡第 39 地点調査風景



神明後遺跡第 39 地点調査風景

報告書抄録

書名	市内遺跡群7		シリーズ名 ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第8集			
編集者	瀬島直久		著者 瀬島直久、高崎直成、越村篤			
編集機関	ふじみ野市教育委員会		所在地 〒356-8501 ふじみ野市福岡一丁目1番2号 TEL. 049 (220) 2088			
発行日	2012年(平成24年)3月30日					
所収遺跡地名	所在地	市町村コード	北緯	調査開始	調査面積	調査原因
	種別/主な時代・主な遺構・主な遺物	遺跡コード	東経	調査終了	㎡	調査担当者
特記事項						
流道跡第15地点	滝3-3-84	112453	35°52'48"	20091023	50	分譲住宅
		25-008	139°31'49"	20091106		瀬島直久、越村篤
	集落跡/奈良・平安時代住居跡1軒、土坑8基、井戸1基、ビット20基、土師器、紡錘車、近世陶磁器 新河岸川の自然堤防上で古代の住居跡と近世の土坑群を検出					
長宮遺跡第30地点	長宮2-4-6	112453	35°52'40"	20091104	445	老人福祉施設
		25-009	139°31'43"	20091208		瀬島直久、越村篤
	集落跡/中・近世土坑9基、井戸7、ビット8基、溝2本、縄文時代石器、中・近世陶磁器、板碑、瓦、石製品、銭貨他 中・近世の井戸群は、旧村落の土地利用を研究する上で貴重					
長宮遺跡第32地点	長宮2-1-18	112453	35°52'36"	20100204	134	分譲住宅
		25-009	139°31'46"	20100225		瀬島直久、越村篤
	集落跡/中・近世土坑20基、溝3本、ビット142基、縄文土器、中・近世陶磁器、泥メンチ 中・近世期の溝とビット群は、旧村落の土地利用を研究する上で貴重					
松山遺跡第49地点	松山2-6-1・14・22の一部	112453	35°52'21"	20091027	30	共同住宅
		25-010	139°31'42"	20091118		瀬島直久、越村篤
	集落跡/8C後半住居跡1軒、井戸1基、溝2本、縄文土器、須恵器、土師器、如壁、羽巾、流動弁、輪形洋 8C後半の住居跡内鍛冶炉を検出、周辺の製鉄関連遺跡を研究する上で貴重					
江川南遺跡第24地点	東久保1-122-5	112453	35°51'49"	20091214	66	分譲住宅
		30-007	139°30'37"	20091228		瀬島直久、越村篤
	集落跡/旧石器時代礫群4基、石器集中1基、縄文時代集石土坑1基、古代～中世の堀跡1本、ナイフ形石器、石核、石錐、細部調整剥片、縄文土器、打製石斧、敲石・磨石 旧石器時代の礫群と石器集中は福岡江川流域の旧石器文化を研究する上で貴重					
胸林遺跡第9地点	胸林字新田前284	112453	35°51'59"	20090730	100	分譲住宅
		25-013	139°31'34"	20090805		瀬島直久、越村篤
	集落跡/縄文時代集石土坑1基、土坑2基、ビット9基、溝1本 縄文時代の集石土坑は福岡江川流域の縄文時代遺跡を研究する上で貴重					
神明長遺跡第39地点	苗間字神明後264-1	112453	35°51'34"	20090824	105	共同住宅
		30-041	139°31'41"	20090901		瀬島直久、越村篤
	集落跡/縄文時代落とし穴1基、中・近世溝2本、ビット28基 縄文時代と中・近世の遺構は遺跡の範囲を確定し集落の研究をする上で貴重					

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第8集

埼玉県ふじみ野市 市内遺跡群7

2012年3月23日印刷
2012年3月30日発行

発行 ふじみ野市教育委員会

〒356-8501 埼玉県ふじみ野市福岡一丁目1番2号
TEL 049-220-2088
FAX 049-261-9750

印刷 株式会社 文化新聞社
